（公　印　省　略）
三人第８７号
令和７年８月１日

各区長　　様

男女共同参画センター所長　藤田 英子

情報誌「こらぼーよ 第７３号２０２５・夏」について
（依頼）

晩夏の候、貴職にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃は、まちづくり地域活動の振興について、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、別添のとおり三木市男女共同参画センター情報誌「こらぼーよ 第７３号２０２５・夏」をお届けいたします。
つきましては、誠に恐縮に存じますが、貴地区での回覧をお願い申し上げます。

記

１　送付物　　・三木市男女共同参画センター情報誌
「こらぼーよ　第７３号２０２５・夏」

２　お届けの枚数　　各地区の回覧枚数

【担当課】市民生活部 人権推進課
男女共同参画センター
（三木市立教育センター内）
℡：８９－２３３１

～市民がつくる～
三木市男女共同参画センター情報誌

こらぼーよ

こらぼーよとは
Collaboration
コラボレーション
（共同・協働）と
～しようよの組合せ

第 73 号
2025・夏

夏号のテーマ
新しいプランができたよ。読んでね！

- 主夫日記Ⅵ「三木市男女共同参画プラン（第４次）を読んで」
- 「僕の子育て体験記❶」
- 「脳に男女の違いはない～我が家のリケジョ（理系女子）～」
- 「自分らしく安心して暮らせるまちづくり」

誰もがいきいきと輝けるジェンダー平等のまち三木をめざし、2025 年 3 月に「三木市男女共同参画プラン（第４次）」が策定されました。

「第 73 号 2025・夏」のこらぼーよはこのプランを読んで編集委員が感じたことをまとめました。

「三木市男女共同参画プラン（第４次）」はホームページに掲載しています。ぜひご一読ください。

HP はこちら

主夫日記Ⅵ 「第4次の男女共同参画プランを読んで」

いつも主夫日記にお付き合いいただきありがとうございます。

新年度になって、少しだけアルバイトを始めました。アルバイト先での昼食、最初は自分で作った簡単なお弁当を持って行っていたのですが、ある日妻が自分の分のついでに僕のお弁当も作ってくれました。しばらくは妻に作ってもらっていたのですが、最近、一緒に作るようにしました。一緒に作って彩りや、冷凍食品の上手な使い方、簡単なおかずの作り方など、毎日自分で作っている人のやり方をよく見るのはとても大切なことですね。

さて、今回の主夫日記は「三木市男女共同参画プラン（第４次）を読んで」ということでお届けします。

三木市の男女共同参画プランについて

三木市男女共同参画プランは 2004 年に男女共同参画社会の実現に向けて総合的かつ計画的に施策を推進するための最初のプランとして策定されました。

その後、プランは 7 年ごとに見直され、一昨年に行われた「三木市男女共同参画に関する市民意識調査」の結果を踏まえ、今回の第4次プランが策定されました。

このプランは「男女共同参画社会基本法」「DV 防止法」「女性活躍推進法」「困難女性支援法」で規定している推進計画・基本計画を兼ねるものになっています。

なぜ男女共同参画が必要なの？

家族のかたちや女性の働き方は、昭和の時代と令和の時代で大きく変わっていますが、男女の役割（ジェンダー規範）はあまり変わってないように思います。

例えば、男性の長時間労働が解消されないために、家事・育児に関われず家族と過ごす機会が奪われたり、共働きでも女性がほぼ全ての家事と育児をしなければならず、女性の負担が重くなったりすることが問題として取り上げられます。

男女の役割分担をこれからの時代に合わせたものにしていくには、誰もが役割分担について考えることが必要です。

さらに、社会の仕組みや制度も変わっていく必要があります。そのためには、社会の仕組みを考える意思決定の場に女性が参画することが必要です。

私たちの男女共同参画

かなり昔のことですが、僕の関わっている地域団体では、会長や本部役員が決めたことを、主に専業主婦の「年度替わりの役員さん」にやらせる方法で行事を開催していました。

新しいアイデアは替わったばかりの役員さんからは出にくいし、主体的に関わってくださる方も現れにくい状況でした。

コロナ禍をきっかけに、活動を見直す中、現役世代の女性から多くの意見を聞くことで、現実的で将来も継続可能な形に少しずつ変えていますが、まだまだ現在活動の見直し途中です。

私たちのまちを「すべての人にとって暮らしやすいまち」にするには、さまざまな人の意見を聞いて、さまざまな意見を取り入れることも必要になります。

みんなの意見を大切にして、より良い社会を一緒に作っていきましょう！

（編集委員：I）

『ぼくの育児体験記 ❶』

現在６か月間育休を取得中の男性です。私が育休を取ろうと思った理由は、新卒で入った会社の最終面接で「最後に質問はありますか？」と聞かれ、「この会社では育児休業は取れますか？」と質問したときの社長と人事部長の回答です。

「もちろん取れますよ。最近は男性でも取得する方がいますよ」と答えてくださいました。これは、この会社に就職する決め手の１つにもなりました。

育休を取る前に上司から「働き盛りの30代で半年いなくなっては、浦島太郎状態になるで」と言われる一方で「小さい子どもの成長は今しか見られない」という意見もあり、両方の気持ちが痛いほどわかりました。考えた結果、子どもの成長する姿は今しか見られないので６か月間は夫婦で協力して育児をしていこうと思いました。

１２月上旬に子どもが生まれ２か月間妻は里帰りをしました。その時は妻から育児の話を他人事のように聞いており、大変さが分かりませんでした。

２月上旬に２人が帰ってきて親子３人の生活が始まり、そこからドタバタの日々でした。初めの頃は仕事をしていて、朝が早いので早く寝たいのに赤ちゃんは泣いているし、なんで泣いているのかわからないし。初めての赤ちゃん、初めての育児は本当に大変なことだらけでした。

自己満足ですがパパの育児日記を毎日書くようにしています。

内容はその日あった出来事や天気、気温などで、将来子どもに見せる時が楽しみで継続しています。

子どもと生活して思うのは、やはり夫婦２人の時は必要のなかった事をするようになり思ったよりも時間がかかることです。

例えば、ミルクを作ったり、哺乳瓶を洗ったり、寝かしつけたり、オムツを替えたり…他にも外出時など、例をあげれば多岐にわたりますが、本当に一日の時間管理が大切だと感じています。

子どもが２月に帰ってきた時は首が座ってなくてハイローチェア＊で寝転がっていましたが、今は上手に寝返りやずりばいもできるようになり、ハイローチェアの上でいることはほとんどありません。

５月から離乳食も始まり、初めは食べてくれるかな？と心配していましたが、毎食完食！もっと欲しいという仕草もするようになり食にも興味がでてきました。離乳食を作るのは簡単そうで難しく、品数も多くなってきて大変です。

４月から育休を取るにあたりルールを決めました。月に２回お互いにひとりの時間を設けること。長期間夫婦が一緒なのでこうした我が家ルールも大事なことです。

この育休中は子どもとたくさん関わり子どもと共に夫婦も成長できる６か月間にしていきたいです。（編集委員：N）

＊新生児から使える簡易ベッドとベビーチェアの２つの機能が一体になったベビー用品

プラン目標Ⅰ-2 あらゆる分野への女性の参画拡大

脳に男女の違いはない～我が家のリケジョ（理系女子）～

「理科や算数は男子のほうが得意」と言われていた時代がありました。女子が理系の進学先を選ぶと「女の子だけど理系に行くんだ」と言われたことも。

しかし時代は変化しており、我が家の大学生の娘は理系の学部に進学していますが周りに「女子なのに」と言われたことはないようです。

「男性と女性は生まれつき脳の構造が異なるため、得意・不得意が分かれている。だからこそ、役割分担をして社会を支えるべきだ」といった考え方がありますが、これは科学的に裏付けられたものではありません。

近年、脳科学の研究でも「男女の脳には本質的な能力差はない」とされるようになってきました。得意・不得意には個人差があるものの、それが性別による決定的な差とは言えないのです。好きな進路に進み、自分が就きたい就職先をめざして頑張る娘の姿を見ていると、能力の差と性別は関係ないと実感します。

とはいえ、学校・学部によって違いがあるものの、理系学部の中の男女比率はまだ男子の方が多いようです。理系の分野に進む女子が増えることは、多様な視点や発想が科学や技術の発展に活かされるという点でも、社会にとって大きな力となります。文系・理系共に、個々のあらゆる才能が性別に関係なく発揮される未来は、より豊かで持続可能な社会を築くための大きな財産です。

「男だから」「女だから」といった先入観ではなく、「その子らしさ」を大切にして、あらゆる分野への女性の参画を拡大できる社会であってほしいと思います。　（編集委員：O）

プラン目標Ⅳ-9-16 互いに支え合う地域社会

～支え合い協力し合って～自分らしく安心して暮らすために

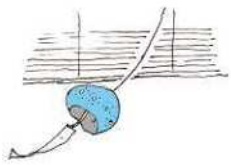
少子高齢化によりさまざまな社会問題が起こっています。老老介護、育児と介護を同時に行うダブルケア、マンパワー不足等々、不安はつきません。

世代間でライフスタイルの違いはあって当然のことですが、自分らしく安心して暮らすためには、生活や健康など、自分自身のことについて主体的な行動を意識して日々過ごすことが大切です。

私の父は、高齢で寝たきり状態となり、主に母が老老介護をしました。私自身も各種手続きや通院等のサポートをしていましたが、父が健康な時には気づくことのなかった不便さや、不安を多く経験しました。「自分の力でできたら、いろんな人に迷惑かけんでもいいのに」と気に病む母の言葉を聞いて、私も同じ立場だったらそう感じるだろうなと思いました。

そんな時、病院関係、介護保険関連等の専門家の方たちのサポートがあり、入院中だった父は大好きな自宅に戻ることができました。

身近な人の支え合いや、協力体制のおかげで、日々を大切に過ごすことができるありがたさを実感します。



「男女共同参画プラン（第４次）」を手に取って見ると、気づきの機会になるような内容がたくさんありました。気持ちの支えになるかもしれませんね。　（編集委員：T）

今後の男女共同参画センター主催の講座

ジェンダーの心理学
～男女の思いこみを科学する～
講師：土肥伊都子さん
8月22日(金)10時～11時30分
自由が丘公民館
申込み不要・どなたでもどうぞ

今年はおにぎらずだよ！
パパと一緒に作っちゃおう！
講師：NPO法人ファザーリングジャパン関西
8月24日(日)9時～12時30分
三木市総合保健福祉センター
●申込み期限8月8日(先着10組)

≪編集後記≫

三木市男女共同参画プラン（第4次）の基本目標Ⅱの中に「男性の家庭参画の促進」という項目があります。

私は実家暮らしですが、母に「自分の事は自分でさせた方が良いと思う」と、父に対する思いを伝えると「お父さんがそんなのするわけないでしょ」と一蹴されます。

男性の育児休暇取得増加など、少しずつ社会は変化してきていますが、性別・年代問わず、男女共同参画に向けた意識の改革はまだまだ必要なのかな、と思う今日この頃です。

（編集委員：F）

企画・編集：情報誌こらぼーよ編集グループ
発行：三木市男女共同参画センター

ホームページからもご覧いただけます
こらぼーよ　三木市

三木市福井1933-12　教育センター3階
TEL:0794-89-2331　FAX:0794-82-8120
開館日時：月曜～金曜 9時～17時（祝日を除く）

（公 印 省 略）
三 健 第 ７ ２ 号
令和７年８月１日

各 区 長　様

三木市健康福祉部健康増進課
課長　　石原　享子

「令和７年度　三木市町ぐるみ健診」チラシの回覧について（依頼）

晩夏の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本市の保健事業について、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、みだしの件について、生活習慣病予防、がんの早期発見・早期治療を目的に、今年度も「町ぐるみ健診」を実施しております。

つきましては、一人でも多くの市民の皆さまに受診していただくため、下記のとおり、チラシの全戸回覧について、ご協力いただきますようお願いいたします。

記

1　送 付 物　　「令和７年度　三木市町ぐるみ健診」チラシ

2　送付部数　　貴地区の回覧部数

3　連 絡 先
三木市健康福祉部健康増進課　健診予防係
（住所）〒673-0413
三木市大塚１丁目６－４０
（電話）０７９４－８６－０９００

令和７年度　三木市

町ぐるみ健診

～未来の健康のこと、考えてみませんか～

★三木市国保加入の 40～74 歳の方、75 歳以上の方
　特定（基本）健診受診料が「無料」です。

★70 歳以上の方
　各種がん検診が「無料」です。

集団健診は、1 日で最大 11 種類の健診が受けられます！！

特定（基本）健診
＋
肺・胃・大腸・子宮・乳・前立腺がん検診、肝炎ウイルス、
胃の健康度チェック、アスベスト・骨粗しょう症、歯周病など

集団健診のお申込み方法は次の2通りがあります。いずれも申込と同時に日程が確定します。

① インターネット
　右の二次元コードをスマートフォン等で読み込んで申込手続きへお進みください。

② 町ぐるみ健診予約専用ダイヤル
　0794-70-9123
　（平日、午前9時から午後5時まで）

インターネット申込用
二次元コード

＊個別健診は協力医療機関へ直接お申込みください。

健診のご案内は、**4 月上旬に**オレンジ色の封筒で各世帯に送付しています。

【　問合せ先　】
三木市健康福祉部　健康増進課
（三木市総合保健福祉センター内）
電話　0794-86-0900

区長協議会連合会定例理事会資料

（公印省略）
三社協法第１１３号
令和７年８月１日

各　区　長　様

社会福祉法人
三木市社会福祉協議会
会　長　植田　吉則

令和７年度　三木市社会福祉協議会会費の取りまとめについて（ご依頼）

晩夏の候　貴職におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申しあげます。
平素は地域福祉推進にご支援とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。
さて、本会では**「住民主体と住民自治による地域福祉の推進」**の法人理念のもと、地域づくりの取り組みと高齢者、障がい者・児に対しての介護、医療事業を一体的な取り組みにより安定的に事業実施できるよう組織運営を行っております。
本年度も令和７年度事業計画に基づき、住民の協議体である本会の組織力を活かし、地域組織や行政をはじめとした多様な主体の参加により事業を推進してまいります。
つきましては、本会組織、活動の意義をご理解いただき、本年度も社協会費の取りまとめに、ご協力をいただきますようお願い申しあげます。

《問い合わせ先》
■三木市社会福祉協議会　法人運営課　　山本、梅本
三木市大塚１丁目６－４０　　℡８２－４０４３
■三木市社会福祉協議会　よかわステーション　南谷
三木市吉川町大沢４１２　　℡７２－２９４０

（別添）

取りまとめ及び同封書類について

《同封書類》

１　会員会費募集用物品一覧

２　令和６年度事業報告書　１冊

（１年間の本会活動・事業をまとめた冊子です）

《同封の募集用物品》

１　啓発チラシ　※希望枚数での配布をお願いします

２　会 費 封 筒　※希望された自治会のみ送付しております。

３　戸別領収書　※希望された自治会のみ送付しております。

（金額 500 円記入あり・記入なし）のどちらか

４　社協会員の証　※希望された自治会のみ送付しております。

隣保長、組長、班長、ブロック長、福祉担当者様宛て文書がご入用の場合はご連絡いただきましたら区長様へご送付させていただきます。 物品等で余りがありましたら、お手数ですが処分していただくか事務局までご連絡ください

《取りまとめについて》

１　会　　費　１口　５００円　（１世帯）

２　取りまとめ期日　令和７年９月４日（木）までにお願いいたします。

《納入方法について》

１　直接事務所に届けていただく方法

・三木市総合保健福祉センター２階（三木市大塚１丁目６－４０）

・三木市立市民活動センター１階　（三木市末広１丁目６－４６）

・三木市吉川支所（吉川健康福祉センター）1階　（三木市吉川町大沢４１２）

※事務所は平日（祝日除く）午前８時３０分～午後５時１５分までとなっておりますが、お電話をいただければ午後５時１５分以降の受付も可能です。

※連絡いただければ受け取りに伺います。その際は会費封筒の開封は不要です。伺った際に預かり書を発行し、後日領収証を送付します。

２　郵便局から振込みいただく方法

同封の払込取扱票を利用ください。

（入金する際は、払込料金が無料となります。）

※硬貨の枚数によっては、手数料等が発生します。

連絡いただければ本会職員が役員様宅へ受け取りに伺います。

３　金融機関から振込みいただく方法

次のいずれかの口座に振込をお願いします。

金　融　機　関　名	口　座　番　号	口　座　名　義
兵庫みらい農業協同組合 三木市久留美支店	普通　５７１３３０６	福）三木市社会福祉協議会 会長　植田吉則
みのり農業協同組合 別所支店	普通　００２９９８５	
みのり農業協同組合 三木支店	普通　３８７３５１６	三木市社会福祉協議会 会長　植田吉則
みのり農業協同組合 吉川支店	普通　００２４０００	

※硬貨の枚数によっては、手数料等が発生します。

連絡いただければ本会職員が役員様宅へ受け取りに伺います。

４　下記の公民館で預けていただく方法

この場合は、公民館で預かり書を発行させていただき、後日事務局より領収証を送付します。

各公民館

・中央公民館　　・三木南交流センター
・別所町公民館　　・志染町公民館
・細川町公民館　　・口吉川町公民館
・緑が丘町公民館　　・自由が丘公民館
・青山公民館　　・吉川町公民館

《その他留意点》

社協会費の取りまとめにおきましては、区長様をはじめ役員の皆さまにご多用の中、ご協力をいただきありがとうございます。

社協会費は、各世帯において本会活動の趣旨に賛同いただき、協力をいただくのが本来のあり方です。一方で、担い手等の負担軽減など、各自治会の事情により、自治会内で協議され、自治会費等から一括して会費に協力いただく自治会もあります。

自治会の総会で議決いただき一括で会費の協力をいただく場合には、**決定された方法や会費の趣旨、使いみち**を自治会の会合や回覧などで、ご周知をお願いいたします。その際には、本会が作成したチラシ等をご活用ください。

《問い合わせ先》
■三木市社会福祉協議会　法人運営課　　山本、梅本
三木市大塚１丁目６－４０　　℡８２－４０４３

区長協議会連合会定例理事会資料

社協会費募集用物品一覧

各募集用物品については、5月にご依頼させていただきました、募集用物品確認票の希望数を送付させていただいております。

追加で必要な物品がございましたら、法人運営課（82－4043）までご連絡ください。

①啓発用チラシ

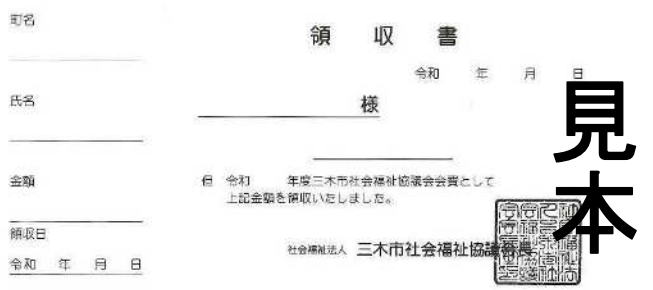
A4サイズ

両面印刷

②会費募集用封筒

長形4号（タテ 20.5cm×9cm）

※通信欄は各自治会で必要に応じてご使用ください。

	③【戸別領収書】※50 枚綴り 500円記入　あり ※会費をお預かりした際にお渡しください。
	③【戸別領収書】※50 枚綴り 500円記入　なし ※会費をお預かりした際にお渡しください。
	④会員の証（シール） サイズ（35mm×35mm） ※会費納入いただいた方にお渡しください。

令和７年度　社会福祉法人　三木市社会福祉協議会

三木社協会員会費 ご協力のお願い

ごあいさつ

皆さまには、日頃より三木市社会福祉協議会にあたたかいご支援とご協力を賜わり厚くお礼申しあげます。

急激な物価高騰や少子高齢化による生産年齢人口の減少により、子育て世代から高齢者に至るまで、幅広い世代にわたり、生活に不安を抱える世帯が増えています。こうした厳しい社会情勢においては、地域全体で支え合い、誰一人取り残されることのない地域福祉の実現が求められています。

「第４次地域福祉活動計画」の４年目にあたる本年は、住民の皆さま、三木市をはじめとした関係機関、そして関係団体の皆さまとともに着実に地域福祉の取組を展開してまいります。

今後も、皆さまと共に誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進していくため、三木市社会福祉協議会の組織と活動の意義をご理解いただき、三木社協会員会費にご協力くださいますようお願い申しあげます。

三木市社会福祉協議会　会長 植 田 吉 則

社会福祉協議会とは

社会福祉法に基づき、「福祉のまちづくり（地域福祉活動）」の推進を目的とする民間の福祉団体です。すべての都道府県・市町村に設置され、地域住民や社会福祉関係者の参加により、地域の福祉推進の中核としてさまざまな活動を進めています。

ホームページ　https://www.miki.or.jp
TEL (0794) 82-4043　FAX (0794) 86-0860

一般会費（世帯）

1口/500円

※下記の会費も募集しています。

区　分		金　額
賛助会費	個 人･法 人･企 業	1口/ 3,000円
団体会費	地域福祉活動団体	1口/ 3,000円

回覧

皆さまとともに三木市社会福祉協議会は地域福祉活動を推進します。

三木市社会福祉協議会は(以下、社協)はさまざまな財源をもとに、各種事業を実施しています。「社協会員会費」は地域福祉の事業を行う本会の根幹となる運営財源として役立てております。安定した運営により、「誰もが安心して暮らすことができる地域づくり」の推進・発展につながっています。

会費のご協力により社協会員になっていただくことは、自ら地域福祉活動を行うことと同じように、地域福祉活動に参加いただくことにつながっています。

皆さまの"地域福祉"につながる取組を行います

住民主体のまちづくりを支援

お寄せいただいた会員会費を財源として、福祉のまちづくりを支援しています。

- 自治会やまちづくり協議会が実施する地域福祉活動の支援　他
- 不登校･ひきこもり支援ネットワーク会議の開催　他
- 各種ボランティア講座の開催

在宅福祉･医療サービスの充実

介護・医療サービス事業の実施

- 訪問介護(ホームヘルプサービス)
- 通所介護(デイサービス)
- 居宅介護支援(ケアマネジメント)
- 訪問看護

障害福祉サービス事業の実施

- 生活介護・自立訓練
- 就労継続支援事業Ｂ型など

日常生活に困ったときの相談支援

権利擁護デスク

高齢者･障がい者の権利擁護などに関する相談を行っています。

あんしんサポートセンター

地域生活の身近な相談窓口です。

地域福祉の情報を発信

広報紙「社協だより」、ボランティア・市民活動情報誌「マガジン」、公式ＳＮＳ等を活用し、地域福祉の推進について効果的な広報啓発をします。

miki 社協

社会福祉法人　三木市社会福祉協議会

電話:0794-82-4043　FAX:0794-86-0860

〒673-0413
三木市大塚1丁目６番40号
(三木市総合保健福祉センター２階)

令和６年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人

三木市社会福祉協議会

目　次

【１　法人の組織整備と運営強化】

（１）組織・運営に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
（２）財務に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
（３）人材確保・育成に関すること・・・・・・・・・・・・・・・１２
（４）広報・啓発に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

【２　地域福祉推進体制の充実・発展】

（１）地域コミュニティ活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・１８
（２）地域支えあい体制づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
（３）ボランタリー活動相談・支援・・・・・・・・・・・・・・・２７
（４）ボランティア・フィールドワークの推進・・・・・・・・・３０
（５）ボランタリー活動者同士の連携・協働の推進・・・・・・・３０
（６）活動おこしのための機会づくり・・・・・・・・・・・・・・３０
（７）ボランタリー活動顕彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
（８）防災と地域福祉の連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
（９）共にありがとう活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
（１０）ボランタリー活動の情報収集・発信・・・・・・・・・・・３７

【３　日常生活自立支援の充実】

（１）総合相談機能の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
（２）介護予防の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
（３）権利擁護と自立支援の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・４５

【４　在宅福祉・医療サービスの充実】

（１）介護・医療サービス関連の取組・・・・・・・・・・・・・・４９
（２）障害福祉サービス関連の取組・・・・・・・・・・・・・・・５３

……赤い羽根共同募金配分事業

令和６年度　事業報告

令和６年度は、本会が策定する５か年計画「第４次地域福祉活動計画」「第２次基盤強化計画」の３年目にあたり、両計画の進捗状況や目標達成状況を意識し、各事業に取り組みました。

１　法人の組織整備と運営強化

本会の安定した経営にむけて、適宜、住民の代表等で構成された理事会及び評議員会を開催し、事業計画及び事業報告、規程改正等重要な事項について審議しました。

財務面では、介護サービス、障害福祉サービスの報酬が改定され、訪問介護ではマイナス改定となりました。合わせて、デイサービスセンターひまわり閉鎖による収入面への影響がありました。法人全体でこれまで以上に経費削減に努め、支出抑制を図りましたが、急激な物価高騰や賃金上昇による経費増の影響を受け、令和６年度は大変厳しい決算となりました。

２　地域福祉推進体制の充実・発展

本会が設立準備の事務局となり協議を重ねてきた、市内の社会福祉法人が参画する三木市社会福祉法人連絡協議会（愛称：ほっとかへんネットみき）を８月に立ち上げ、実施事業について、参加者相互で協議を行いました。

また、「協働が進む、広がる」をテーマとして、学校に行きづらい子ども、ひきこもりがちの本人やその家庭を支援するボランティア・関係機関のネットワーク「ほっぷ☆すてっぷ」や子ども食堂・地域食堂運営団体でつくる「みんなの食堂ネットワーク」など、立場の違う者同士が共通の目的達成を目指して協議や事業を行う協働会議を開催しました。

三木市より受託している「生活支援体制整備事業」においては、市内各地区の地域づくりの推進や地域福祉研修を実施。住民が主体となった市内の取組の紹介や福祉専門職と地域住民、市（行政）がともに福祉のまちづくりについて、相互の理解が深まる取組を推進しました。

３　日常生活自立支援の充実

あんしんサポートセンターによる地域の総合相談窓口では、生活課題の相談を受け、解決に向けて支援をしました。

新型コロナ特例貸付を利用した世帯等を支援する「ほっとかへんネットワーカー」事業においては、引き続き生活応援セット（食料品）を配布するとともに生活状況の聞き取りを行いました。

三木市成年後見支援センター事業では、司法書士の職能団体である（公社）成年後見センター・リーガルサポートと契約を結び市民からの相談を専門家が対応する体制がさらに充実しました。

４　在宅福祉・医療サービスの充実

デイサービスセンター・在宅介護支援センターひまわりの閉鎖にあたり、利用者のスムーズな移行について市や関係機関と調整しました。指定管理施設であるデイサービスセンター・在宅介護支援センター、はばたきの丘、本会事業である訪問介護、訪問看護事業においては、市民や利用者のニーズを的確に把握し、利用者本位で地域に密着したサービスを展開しました。

また、通所施設（デイサービスセンター、はばたきの丘）では、趣向を凝らした施設内外での活動や地域との交流も継続して実施し、利用者にとって少しでも楽しみをもって日々の暮らしが豊かになるよう取り組みました。

は「赤い羽根共同募金配分事業」を示します。

1　法人の組織整備と運営強化

（1）組織・運営に関すること

①理事会・評議員会・監査機能の充実

基盤計画
1－(1)

本会の執行機関である理事会、議決機関である評議員会の開催及び監査を実施。

（実績）

ア　理事会　６回

適切に会長の職務状況報告や重要事項に関する協議を実施できた。

開催日（出欠状況）	協　議　事　項　等
第１回　　５月３０日 （理事　１２/１３人出席） （監事　　１/２人出席）	（１）審議事項 議案第　１号　令和５年度 事業報告（案）について 議案第　２号　令和５年度 収支決算（案）について 議案第　３号　評議員選任候補者の推薦について 議案第　４号　第１回評議員会（定時評議員会）の開催について （２）報告事項 報告第　１号　社会福祉法人指導監査結果及び改善報告について 報告第　２号　三木市立デイサービスセンターひまわり・三木市立在宅介護支援センターひまわり廃止に向けた市との協議について
第２回　　８月　１日 （理事　１１/１３人出席） （監事　　２/２人出席）	（１）審議事項 議案第　５号　令和６年度第１次補正予算について 議案第　６号　職員給与規程の一部改正について 議案第　７号　第２回評議員会の開催について （２）報告事項 報告第　３号　三木市立デイサービスセンターひまわり・三木市立在宅介護支援センターひまわり廃止に向けた市との協議について
第３回　１０月　４日 （理事　１１/１３人出席） （監事　　２/２人出席）	（２）報告事項 報告第　４号　会長の職務執行状況報告について
第４回　１２月　４日 （理事　　９/１３人出席） （監事　　２/２人出席）	（１）審議事項 議案第　８号　市立デイサービスセンターの指定管理について 議案第　９号　市立障害者総合支援センターはばたきの丘の指定管理について 議案第１０号　地域歳末たすけあい運動配分事業について （２）報告事項 報告第　５号　指定障害福祉サービス事業者等に対

	する運営指導の結果及び対応について
第５回　　２月４日 （理事　１０/１３人出席） （監事　　２/２人出席）	（１）審議事項 議案第１１号　評議員選任･解任委員の選任について （２）報告事項 報告第　６号　寄付採納について 報告第　７号　デイサービスセンター志染運営指導の結果及び対応について 報告第　８号　ヘルパーステーション（障害）運営指導の結果及び対応について
第６回　　３月１７日 （理事　１０/１３人出席） （監事　　２/２人出席）	（１）審議事項 議案第１２号　令和６年度第２次補正予算について 議案第１３号　令和７年度事業計画について 議案第１４号　令和７年度収支予算について 議案第１５号　三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘運営規程の一部改正について 議案第１６号　市民ふくし相談所相談員の選任について 議案第１７号　令和７年度役員賠償責任保険の加入について 議案第１８号　第３回評議員会の招集について （２）報告事項 報告第　９号　会長の職務執行状況報告について 報告第１０号　令和６年度地域歳末たすけあい配分事業について

イ　評議員会　３回

開催日（出欠状況）	協　議　事　項　等
第１回　　６月２１日 （評議員　２０/２４人出席） （理事　　３人出席） （監事　　２人出席）	（１）審議事項 議案第　１号　令和５年度事業報告について 議案第　２号　令和５年度収支決算について （２）報告事項 報告第　１号　三木市立デイサービスセンターひまわり・三木市立在宅介護支援センターひまわり廃止に向けた市との協議について
第２回　　８月　９日 （評議員　２１/２４人出席） （理事　　２人出席）	（１）審議事項 議案第　３号　令和６年度第１次補正予算について
第３回　　３月２４日 （評議員　１７/２４人出席） （理事　　３人出席）	（１）審議事項 議案第　４号　令和６年度第２次補正予算について 議案第　５号　令和７年度事業計画について 議案第　６号　令和７年度収支予算について

ウ　監事監査　１回

開催日（出欠状況）	協　議　事　項　等
５月１７日 （監事　２/２人出席）	監事による監査を実施 令和５年度　事業監査 令和５年度　会計監査

エ　評議員選任・解任委員会　１回

開催日（出欠状況）	協　議　事　項　等
第１回　６月　３日（決議日） 委員全員から書面による同意	（１）審議事項 議案第　１号　評議員の選任について

オ　正副会長会　６回

開催日（出欠状況）	協　議　事　項　等
第１回～６回　５月～３月 （正副会長　３名出席）	理事会、評議員会　提出議案の事前審議 事業執行に関する協議、報告　等
臨時正副会長会　９月６日 （正副会長　３名出席）	デイサービスひまわり廃止に伴う支援の依頼について

（担当課：法人運営課）

②委員会機能の充実

基盤計画
１－(1)

ア　法人運営委員会
開催無し

（担当課：法人運営課）

イ　ボランタリー活動プラザみき運営委員会
１０回開催
地域づくりを進めるうえで重要となるテーマについて協議を重ね、「なるほどシリーズ」No.４を作成した。委員の意見を聞き、事業に反映を行った。
下記の内容で協議を行った。

開催日	内容
４月２５日	委員長・副委員長の互選 本年度委員会の進め方について
５月２３日	みきボランタリー活動応援共感ファンド応募団体の審査について
６月２７日	「なるほどシリーズ」No.４について ２０２４年みきボランタリー活動記章贈呈者の選考について
７月２５日	みきボランタリーフェスタ２０２４の開催について 「なるほどシリーズ」No.４について
８月２２日	「なるほどシリーズ」No.４について 「ほっとけない！」地域づくりを考える集いについて
９月２６日	「なるほどシリーズ」No.４について 「ほっとけない！」地域づくりを考える集い ・グループワークについて 食を通じた地域の支え合い活動に関する補助金について
１０月２４日	「ほっとけない！」地域づくりを考える集い ・スケジュールについて ・グループワークについて
１２月１４日	みきボランタリーフェスタ２０２４を終えて

	食を通じた地域の支え合い活動に関する補助金について 第６期みきボランタリー活動応援共感ファンドの評価と第７期みきボランタリー活動応援共感ファンドについて　他
１月２３日	三木市社会福祉協議会感謝状及びみきボランタリー活動記章贈呈式兼みきボランタリー活動応援共感ファンド活動報告会の開催について 令和６年度事業評価について 三木市地域福祉研修の開催について
２月２９日	みきボランタリー活動応援共感ファンド応募状況について 令和７年度事業計画書（案）について

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

ウ　在宅福祉サービス検討委員会

１回開催

在宅福祉サービス事業について、市民の立場にたったサービスの実施に向け、次のことについて、協議を行った。

開催日	内容
３月１１日	令和６年度事業評価と令和７年度事業計画について

（担当課：地域生活支援課、相談支援課）

エ　三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘運営委員会

３回開催（６月、１０月、２月）

半期ごとの事業報告、事業計画策定、また今後の地域交流について、どんな企画をすれば地域の方々ともっと交流が図れるか、施設を知ってもらえるのか等について協議した。

開催日	内容
６月２５日	・令和６年度はばたきの丘事業計画、委員会・プログラム・行事等年間計画について ・今後の地域交流について
１０月２２日	・はばたきの丘上半期事業報告及び下半期の計画について ・スヌーズレン室開室後１年の利用状況報告 ・はばたき音楽祭（7/27 実施）の報告
２月２５日	・令和６年度はばたきの丘事業評価（案）について ・令和７年度はばたきの丘事業計画（案）について ・利用率向上を目指した取り組み（夢プロジェクト）について

（担当課：はばたきの丘）

③危機管理マニュアルの作成・見直しと市外災害対応

ア　感染症マニュアルの整備（感染症への対応）

感染症発生時における業務継続計画を策定し、新型感染症が発生した場合でも業務を継続できるよう計画に基づいて訓練を実施した。また、感染症の予防及びまん延防止のための指針を策定し、委員会を開催した。

委員会の開催

介護保険部門：２回

はばたきの丘：３回

イ　事業継続計画（ＢＣＰ）の策定

自然災害発生時における業務継続計画を策定し、平常時の備えや非常時を想定した訓練等を行った。

ウ　市外対応

市外への災害に迅速に対応するための体制の構築

（実績）

【市内災害対応】

三木市内の台風接近等に伴う非常配備体制　実績　なし

【市外災害対応】

令和６年能登半島地震の支援活動として、職員派遣を行うとともに県内社協職員による災害ボランティアバスに参加した。

職員派遣　計４回

活動先：石川県七尾市

	所属	派遣人数	期間
1	はばたきの丘	1	R6.4.21～4.27
2	相談支援課	1	R6.5.11～5.17
3	ボランタリー活動プラザみき	1	R6.5.15～5.21
4	はばたきの丘	1	R6.6.4～6.10

災害ボランティアバスへの参加　計１回

活動先：石川県七尾市

	所属	派遣人数	期間
1	ボランタリー活動プラザみき	1	R6.6.21～6.23
2	地域生活支援課	1	
3	相談支援課	1	
4	はばたきの丘	1	

（担当課：法人運営課、ボランタリー活動プラザみき、地域生活支援課、相談支援課、はばたきの丘）

④市内社会福祉法人連絡協議会の取組

社会福祉法人の専門性や機能を生かした取組の情報共有、連携を図るため「社会福祉法人連絡協議会」の設置に向けて取り組んだ。

ア　準備委員会の実施

連絡協議会の設立に向け、分野ごとに１～２名の委員及びアドバイザー（兵庫県社会福祉協議会職員）で構成。令和６年２月から月１回の協議を実施し、計６回開催した。

○第１回：令和６年２月２６日　７名
- 委員長、副委員長の選任
- 連絡協議会の方向性について
- 全体のスケジュール等について

○第２回：令和６年３月２５日　７名
- 趣意書草案に向けた課題等抽出

○第３回：令和６年４月３０日　７名
- 小野市視察報告
- 設立趣意書案、設立総会日程について

○第４回：令和６年６月３日　６名
- 設立趣意書について
- 規約、事業計画について
- 広報紙について

○第５回：令和６年７月２日　６名
- 規約、事業計画について協議
- 設立総会のスケジュール、役割分担

○第６回：令和６年７月２４日　７名

	・設立総会の役割分担 ・実務担当者会の開催方法、メンバー等について イ　取組状況の広報 ・令和６年６月に準備委員会からの経過報告として、各社会福祉法人に現在の検討状況及び設立総会の開催について広報を行った。 ウ　設立総会の実施 会員法人：２１法人 開催日：令和６年８月２１日 参加者：１７法人／２１法人　計３２名 ※構成は市内に本拠地又は施設がある法人 来　賓：三木市長、兵庫県社会福祉協議会事務局長 エ　実務担当者会議の実施 ①開催日：令和６年１０月２４日 参加者：１７法人／２１法人　計２９名 内　容：ほっとかへんネットみきについて 実務担当者会議について チームビルディング交流研修 ②開催日：令和７年２月１２日 参加者：１３法人／２１法人　計１９名 内　容：グループワーク キャッチコピーからほっとかへんネットを考える。 令和７年度事業計画について （担当課：法人運営課、相談支援課）
⑤職場環境の整備	
	前年度から継続して取り組んでいる働き方改革への対応について、専門家等の助言を得ながら規程等の改正を行う。また、各種制度改正による対応のほか、よりよい職場環境をめざし、改善を図る。 （実績） ア　給与規程等関係規程の見直しの検討 イ　衛生委員会の開催（月１回） ウ　健康診断の実施（１０月～１１月）・ストレスチェックの継続実施（１月） エ　産業カウンセラーと連携した職員の相談窓口強化を行った オ　ハラスメント防止研修の実施 開催日：令和６年９月１１日 対　象：管理監督職　２３名 （担当課：法人運営課）
⑥ＩＣＴ（情報通信技術）の推進	
	働き方改革の提言において、医療、福祉サービスの改革プランでは生産性の向上が示され、ロボット・ＡＩ（人工知能）等の活用が進められている。 介護、障害、医療にとどまらず、業務全般の革新に向けた取組を進めた。 ア　介護、障害、医療におけるＩＣＴ等の活用 イ　事務処理の効率化に向けたＩＣＴの活用 （実績） ・職員同士の課題検討会の実施 ・市民向けアンケートの回答や、研修会の参加申込にインターネットのホームを活用した。 ・会計システムの導入（３月より試験稼働）

	会計処理の効率化及び正確性向上のため全部署統一の収入、支出命令書システムを導入した。 （担当課：法人運営課）

（２）財務に関すること

①財務指標分析の実施	
基盤計画 １－(1) ２－(1)	ア　役員会への報告 　定期的な月次報告を実施した。 イ　各部署・部門への指導 ウ　財務指標分析の実施 　引き続き、具体的な指標づくりに向けて取組を進める。 エ　制度改正への対応 （担当課：法人運営課）
②指定管理施設の運営分析	
基盤計画 ２－(2)	市担当課と定期的に情報交換の場を設け、情報共有化が図れるように協議。 ＜指定管理施設＞ デイサービスセンター７施設（市担当課　介護保険課） 障害者総合支援センターはばたきの丘（市担当課　障害福祉課） （実績） 　令和７年度～１１年度の指定管理申請を行い、管理者として指定された。 　また、組織運営に必要な指定管理料の積算を行った結果、７年度よりデイサービス、はばたきの丘とも管理料の増額となった。 　施設の運営状況や維持管理また修繕について随時、市担当者と協議を行った。 　デイサービスセンターひまわりに関しては、令和７年３月、志染町青山に特別養護老人ホーム、デイサービスセンターが開所することに伴い、デイサービスセンターひまわりの廃止について三木市と協議を進めた。 （担当課：法人運営課、地域生活支援課、はばたきの丘）
③社協会員加入促進・募金の啓発	
基盤計画 ２－（1）	会員加入について組織運営と活動への理解と協力が得られるよう事業を実施し、啓発を行った。 善意募金においては、どのような事業、活動に使われているか明確にして募金者の共感が得られるように、社協だより等で啓発を行った。 ア　各地区区長協議会への会員会費、募金の説明と啓発 区長協議会連合会定例理事会出席３回 社協会費、善意募金への理解を得るため、区長協議会へ説明と啓発を行った。 イ　住民への広報活動について 共感や理解が得られるように説明資料や広報内容を工夫した。 （社協会費実績）　（単位：円）

区分		令和６年度実績	令和５年度実績	比較増減
一般会費	三　木	1,902,510	1,838,500	64,010
	三木南	200,000	225,000	△ 25,000
	別　所	431,800	565,100	△ 133,300
	志　染	310,300	307,700	2,600

	細　川	280,000	291,000	△ 11,000
	口吉川	208,500	209,500	△ 1,000
	緑が丘	328,700	348,323	△ 19,623
	自由が丘	891,792	867,410	24,382
	青　山	435,644	530,842	△ 95,198
	吉　川	850,000	856,500	△ 6,500
	小計	5,839,246	6,039,875	△ 200,629
名誉会費		0	0	0
賛助会費		282,000	354,000	△ 72,000
団体会費		117,000	150,000	△ 33,000
合計		6,238,246	6,543,875	△ 305,629

（善意募金実績）　（単位：円）

地区	令和６年度実績	令和５年度実績	比較増減
三　木	633,210	678,910	△ 45,700
三木南	146,200	157,000	△ 10,800
別　所	295,150	410,750	△ 115,600
志　染	251,637	227,799	23,838
細　川	142,700	149,400	△ 6,700
口吉川	146,400	149,700	△ 3,300
緑が丘	227,500	236,700	△ 9,200
自由が丘	355,660	389,377	△ 33,717
青　山	160,080	175,682	△ 15,602
吉　川	496,489	517,431	△ 20,942
篤志	0	5,000	△ 5,000
合計	2,855,026	3,097,749	△ 242,723

（善意銀行実績）　（単位：円）

月日	申込者(敬称略)	内容	寄託金額
4月9日	匿名	地域福祉活動の推進	50,000
6月12日	三木市内奉仕六団体親睦チャリティーゴルフ大会実行委員会	地域福祉活動の推進	100,000
7月3日	匿名	共感ファンド	2,000
7月4日	匿名	共感ファンド	3,000
7月5日	匿名	共感ファンド	10,000
7月9日	みき音楽療法ボランティア「そよかぜ」	共感ファンド	6,000
7月16日	匿名	共感ファンド	3,000
7月16日	岡本　吉弘	共感ファンド	3,000
7月17日	後迫　利治	共感ファンド	10,000
7月17日	片山　操代	共感ファンド	1,000
7月18日	植田　吉則	共感ファンド	2,000
7月19日	よって亭なかよし会	共感ファンド	1,000
7月19日	西１丁目ふれあいサロングループ	共感ファンド	1,000
7月19日	堂本　和子	共感ファンド	3,000
7月20日	三木短歌会	地域福祉活動の推進	31,000
7月21日	匿名	共感ファンド	30,000
7月26日	小泉　昭一	共感ファンド	6,000
7月27日	藤本　睦子	共感ファンド	2,000

8月1日	藪本　耕一	共感ファンド	10,000	
8月20日	募金箱	共感ファンド	25,000	
8月24日	匿名	共感ファンド	10,000	
8月27日	匿名	共感ファンド	5,000	
8月29日	柳　和代	共感ファンド	10,000	
8月29日	内薗　加代子	共感ファンド	10,000	
8月30日	中上　宣子	共感ファンド	10,000	
9月5日	募金箱	共感ファンド	87,312	
9月5日	募金箱	共感ファンド	40,915	
9月5日	募金箱	共感ファンド	9,007	
9月30日	匿名	地域福祉活動の推進	4,041	
10月2日	募金箱	共感ファンド	8,430	
10月8日	第１７回三木市高齢者大学卒業生合同歌謡大会実行委員会	地域福祉活動の推進	10,215	
10月18日	志染コープ委員会	地域福祉活動の推進	2,778	
10月29日	三木市レクリエーション活動協会　横山昌子	地域福祉活動の推進	46,471	
11月6日	広野老人クラブ	地域福祉活動の推進	5,000	
11月6日	小林老人クラブ	地域福祉活動の推進	5,000	
11月6日	口吉川老人クラブ	地域福祉活動の推進	30,000	
11月6日	青山地区連合老人会	地域福祉活動の推進	15,000	
11月6日	別所老人クラブ	地域福祉活動の推進	50,000	
11月6日	三木さつきクラブ	地域福祉活動の推進	70,000	
11月6日	自由が丘老人連合クラブ	地域福祉活動の推進	45,000	
11月6日	緑が丘友愛クラブ	地域福祉活動の推進	20,000	
11月6日	吉川町老人連合会	地域福祉活動の推進	47,762	
11月6日	志染町老人クラブ	地域福祉活動の推進	50,000	
11月7日	三木市内奉仕六団体親睦チャリティーゴルフ大会実行委員会	地域福祉活動の推進	100,000	
11月11日	有限会社こさる	地域福祉活動の推進	100,000	
11月11日	三木さくらニャンズ	善意銀行の仕組みを支援する	32,265	
11月12日	（株）大林設備工業	地域福祉活動の推進	136,100	
11月21日	匿名	地域福祉活動の推進	3,647	
11月25日	株式会社ヤクルト本社　兵庫三木工場	地域福祉活動の推進	100,000	
11月27日	匿名	善意銀行の仕組みを支援する	5,000	
12月2日	匿名	地域福祉活動の推進	10,000	
12月11日	匿名	地域福祉活動の推進	1,000,000	
12月13日	匿名	地域福祉活動の推進	10,000	
1月28日	山本博、山本美代子	地域福祉活動の推進	100,000	
2月14日	三木佛教履信会　親和部	地域福祉活動の推進	18,667	
2月26日	匿名	地域福祉活動の推進	10,000	
3月7日	阿波おどり　遊舞連	地域福祉活動の推進	72,000	
3月22日	end	地域福祉活動の推進	34,318	
	掲載不可	―	237,225	
	共感ファンドは、令和６年度は、下記２つのプロジェクトを応援した。 ①「さくら耳ネコ（不妊済み）を増やしたい。地域猫活動にご協力を！！」三木さくらニャンズ ②「共感ファンドの運営資金にご支援を!」三木市社会福祉協議会			

	寄託	
	件数	金額
金銭	76 件	2,860,153 円
物品	36 件	

（社協寄付実績）　（単位：円）

月日	申込者(敬称略)	内容	寄託金額
4 月 23 日	三木市盆栽協会　三木支部翠晃会	本会事業の支援に	200,000
5 月 2 日	匿名	本会事業の支援に	500,000
5 月 29 日	石田　保彦	社会福祉事業基金に	10,000
6 月 4 日	松澤紀美代	本会運営の支援に	15,000
6 月 25 日	匿名	本会運営の支援に	100,000
8 月 15 日	匿名	本会事業の支援に	3,401
8 月 27 日	匿名	本会事業の支援に	100,000
11 月 11 日	三木市ユネスコ協会	本会事業の支援に	20,854
12 月 4 日	匿名	本会事業の支援に	462,871,690
12 月 25 日	三木市茶道協会	本会事業の支援に	30,000
12 月 26 日	匿名	本会事業の支援に	34,310
1 月 7 日	匿名	本会事業の支援に	11,210
1 月 8 日	匿名	本会事業の支援に	20,000
2 月 13 日	コープ志染　志染コープ委員会	ボランティア基金に	5,631
3 月 12 日	渡瀬老人クラブ	本会運営の支援に	40,369
3 月 13 日	匿名	本会事業の支援に	5,000
	掲載不可		105,000

	寄託	
	件数	金額
金銭	18 件	464,072,465 円
物品	17 件	

赤い羽根共同募金運動による配分
共同募金会の受配事業を効果的に推進し、受配金の活用を行った。

（配分実績）　（単位：円）

配分事業	配分金額
・地域コミュニティ活動の推進 ふれあいサロン開設推進、ふれあい会食会活動の支援等 マイクロバス等地域活動車両の貸出、運行 ・活動おこしのための機会づくり 各ボランティア、市民活動講座の開催 ・広報・啓発 社協だよりの発行、点訳・音訳による情報発信 ・ボランタリー活動相談・支援 ・生活困窮者への相談支援	5,687,000

（募金実績）　（単位：円）

募金種別	募金額
戸別募金	2,903,766

街頭募金	152,358
大口募金	2,307,000
学校募金	220,275
団体・職域募金	691,587
募金箱	73,332
その他	9,032
合計	6,357,350

※令和７年度地域福祉活動費等で約８０％が三木市社協に配分される予定

（担当課：法人運営課）

④地域歳末たすけあい配分事業の実施

地域歳末たすけあい運動の趣旨に基づき、理事会で配分審査（福祉施設配分）を行い、透明性を確保し、共同募金の原則により次の配分を行った。

ア　施設等利用者に対する事業への配分、罹災見舞への配分への継続実施
イ　配分事業、配分先についての検討

（配分実績）　（単位：円）

配分方法	配分先	配分金額
福祉施設配分	障がい者福祉施設　８施設	180,000
罹災見舞配分	火災見舞　３件	90,000
計		270,000

※福祉施設配分先
・特定非営利活動法人あすてる　地域活動支援センターみにょんち
・特定非営利活動法人　三木市手をつなぐ育成会　生活介護　じゃがいもの家
・株式会社 NEXTSTEGE　放課後等デイサービス　ウィズ・ユー三木
・特定非営利活動法人　つばめのお家
・特定非営利活動法人　そよかぜねっと・やすらぎ工房
・合同会社アイグルー・就労継続支援Ｂ型レクリエイト
・社会福祉法人まほろば　三木光司園

（担当課：法人運営課）

（３）人材確保・育成に関すること

①人材確保・育成・管理

基盤計画
３－（2）

ア　職階別、職能別研修及び0JT担当者研修・情報交換会の実施
①階層別研修（実績）
第２次基盤計画に基づき、階層別の研修を実施した。

■新任職員(概ね３年未満の職員)

研修名	月日	会場	参加人数
新人社員ビジネス講座	4月3日	三木市商工会議所	4名
令和６年度社会福祉協議会新任職員研修	4月22日～4月23日	兵庫県福祉人材研修センター	4名

■0JT 担当職員

研修名	月日	会場	参加人数
0JT リーダー養成研修（実践編）	7月25～10月3日	兵庫県福祉人材研修センター	4名

■機能別研修（実績）

研修名	月日	会場	参加人数
新入社員ビジネス講座	4月3日	三木商工会議所	4
令和６年度三木市地域自立支援協議会　第１回しごと部会	4月16日	三木市役所	1
令和６年度 介護支援専門員専門研修課程１・更新研修Ａ（前期）	4月19日	兵庫県福祉人材研修センター、e-ラーニング	1
令和６年度社会福祉協議会新任職員研修	4月22日	兵庫県福祉人材研修センター	4
令和６年度三木市地域自立支援協議会　第１回くらし部会	4月23日	三木市手をつなぐ育成会	1
人工呼吸器機能説明会	5月10日	大塚事務所	7
普通救命講習Ⅰ	5月11日	三木消防署	1
フォロワーシップ研修	5月15日	兵庫県福祉人材研修センター	1
自立生活訓練センター　施設説明会	5月17日	ｗｅｂ配信 はばたきの丘	1
令和６年分定額減税説明会	5月17日	三木納税協会	1
令和６年度第１回自立支援協議会定例会	5月21日	三木市役所	1
三木市主任ケアマネ連絡会	5月24日	三木市立市民活動センター分館	1
令和６年度　生活支援体制整備事業　市町担当者・管理者会議	6月4日	兵庫県福祉センター	2
普通救命講習Ⅰ	6月8日	三木消防署	1
相談支援に関する講演会	6月16日	神戸市民福祉交流センター	1
各市町社会福祉協議会東播磨ブロック協議会職員部会	6月18日	小野市社会福祉協議会	1
北播磨総合医療センター緩和ケア病棟主催　研修会	6月20日	北播磨総合医療センター	3
兵庫県内社協職員による七尾市ボランティアバス	6月21日	七尾市	4
令和６年度三木市障害者（児）地域自立支援協議会　第１回全大会	6月24日	三木市役所	1
令和６年度第１回障害者差別解消支援地域協議会	6月24日	三木市役所	1
令和６年度　生活支援体制整備事業生活支援コーディネーター基礎セミナー	7月1日	兵庫県福祉センター	1
OJT リーダー養成研修（基礎編）	7月4日	兵庫県福祉人材研修センター	1
令和６年度地域マネジメント力向上支援事業	7月4日	オンライン	2
新任管理職研修	7月5日	兵庫県福祉人材研修センター	1

	令和６年度重層的支援体制整備事業人材養成研修	7 月 9 日	オンライン	2
	看護研修	7 月 10 日～11 日	兵庫あおの病院	1
	兵庫県　行政職員向け地域づくり研修	7 月 24 日	兵庫県中播磨県民センター	2
	社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会	7 月 25 日	のじぎく会館	1
	令和６年度権利擁護の多様な担い手養成モデル事業検討委員会	7 月 30 日	兵庫県福祉センター	1
	令和６年度主任介護支援専門員研修	8 月 1 日	兵庫県福祉センター	1
	甲種防火管理新規講習	8 月 8 日	三木市消防本部	3
	北播磨がんセミナー2024　緩和治療について	8 月 22 日	北播磨総合医療センター	2
	会計実務担当者研修（税務編）	8 月 26 日	兵庫県福祉人材研修センター	1
	三木市地域福祉研修	8 月 27 日	市民活動センター	1
	第２回しごと部会	8 月 27 日	三木市役所	1
	「誰一人取り残さない」防災研修	9 月 20 日	オンデマンド配信	2
	高次脳機能障害がある方の自宅でできるリハビリ研修	9 月 20 日	オンデマンド配信	1
	令和６年度　第２回　社協ワーカー実践研究会議	9 月 20 日	兵庫県学校厚生会館	1
	生活支援コーディネーターオンライン情報交換会「兵庫えんがわナビ」	9 月 24 日	オンライン	1
	看護研修	9 月 25 日～26 日	兵庫あおの病院	1
	行政職員向け地域づくり研修第３回目指す地域づくりに向けた現状把握	9 月 27 日	兵庫県中播磨県民センター	1
	「社会リハビリテーション」勉強会	9 月 28 日	オンライン	1
	北播磨圏域訪問官ステーション連絡会 2024 年度研修会	9 月 28 日	加東市福祉センター２F	2
	令和６年の認知症研修会	9 月 28 日	小野市うるおい交流館エクラ	1
	日常生活自立支援事業　令和 6 年度　第１回　専門員会議	10 月 3 日	兵庫県福祉センター	1
	障がい者ケアセンターかんの見学	10 月 10 日	障がい者ケアセンターかんの	2
	令和６年度主任介護支援専門員研修	10 月 10 日	兵庫県福祉センター	2
	自立訓練事業者スキルアップ研修	10 月 11 日	奈良県社会福祉総合センター	1
	専門用語を使わない　障害のある子の親亡き後のお金の話	10 月 15 日	オンライン	1

	令和６年度 介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・更新研修Ａ（後期）	10 月 16 日	兵庫県福祉人材研修センター、e-ラーニング	3
	成年後見制度を知る講座	10 月 17 日	三木市立教育センター	1
	2024 年度法定研修「高齢者虐待身体拘束について」	10 月 19 日	オンライン	8
	近畿地域福祉学会研究助成セミナー	10 月 19 日	大阪市社会福祉研修･情報センター　４階　会議室	1
	兵庫県行政職員向け地域づくり研修　第４回地域づくり施策のプロセスデザイン	10 月 29 日	兵庫県中播磨県民センター	1
	令和６年度　しごと･くらし合同部会	11 月 5 日	三木市役所	1
	共同生活援助（グループホーム）ルナ見学	11 月 8 日	共同生活援助（グループホーム）ルナ	1
	令和６年度三木市障がい者地域自立支援協議会　第２回定例会	11 月 12 日	オンライン	1
	たいサポセミナー第６回「その個人情報、共有して大丈夫？」	11 月 16 日	複合型交流拠点ウィズあかし(アスピア明石)	1
	障害者支援施設三愛園見学	11 月 19 日	障害者支援施設三愛園	2
	成年後見制度を知る講座	11 月 19 日	三木市総合福祉センター	1
	2024 年度　第４回認知症介護実践者研修	11 月 20 日	総合リハビリテーションセンター　福祉のまちづくり研究所	1
	令和６年度多職種連携研修会	11 月 21 日	オンライン	1
	三木精愛園セミナー	11 月 25 日	三木市教育センター	1
	三木市障碍者(児)地域自立支援協議会　第３回そうだん分科会	11 月 28 日	三木市役所５階大会議室	1
	東播磨ブロックホームヘルプ事業者協議会研修	11 月 28 日	オンライン	2
	第９回小児在宅医療講習会	12 月 1 日	オンライン	1
	看護職と介護職の連携力強化研修	12 月 3 日	兵庫県福祉人材研修センター	1
	福祉従事者のためのアンガーマネジメント研修	12 月 9 日	兵庫県福祉人材研修センター	1
	兵庫県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	12 月 11 日	オンライン	1
	社会リハビリテーション勉強会	12 月 15 日	オンライン	1
	必見！厚生労働省と対話で深める！！～地域支援事業実施要綱及び介護予防･日常生活総合事業のガイドラインの一部改正の本質を探る	12 月 16 日	兵庫県立のじぎく会館	2
	令和 6 年度三木市地域自立支援協議会第２回全体会	12 月 16 日	三木市立教育センター	1
	医療的ケア児支援者研修会	12 月 24 日	三木市役所	1

生活支援コーディネーターオンライン情報交換会「兵庫えんがわナビ」	12 月 24 日	オンライン	1
多職種連携力を高める研修～連携の基本を学ぶ～	1 月 14 日	兵庫県福祉人材研修センター	1
兵庫県強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	1 月 20 日	オンライン	1
神出学園見学	1 月 23 日	兵庫県立神出学園	3
令和６年度第２回三木市障害者差別解消支援地域協議会	1 月 27 日	三木市教育センター	1
令和６年度三木市支援ケアマネ連絡会	1 月 29 日	三木市役所	1
川西市１層協議体視察	1 月 31 日	川西市役所	1
令和６年度生活支援コーディネーターフォローアップセミナー	2 月 6 日	兵庫県学校厚生会館	1
市町社協活動推進協議会東播磨ブロック協議会第 3 回職員部会業務研修	2 月 12 日	加西市健康福祉会館	1
令和 6 年度ボランティアコーディネーター情報交換会	2 月 17 日	西脇市総合福祉センター萩ヶ瀬会館	2
高次脳機能障害がある方が使える福祉の制度研修	2 月 19 日	オンデマンド配信	1
管理職のためのマネジメント実践研修	3 月 6 日	オンライン	1
令和 6 年度第３回自立支援協議会定例会	3 月 17 日	三木市教育センター	1

イ　人材育成に向けた取組
・OJT 担当者研修への参加　４名

ウ　全体研修の実施
（実績）

研修名	実施期間	会場	参加人数
交通安全研修	11 月 1 日～2 月 29 日	各所属	２１６人
人権研修「聞こえの啓発講座」	11 月 26 日～27 日	三木市立市民活動センター	２０７人

エ　永年継続等表彰

表彰名	受賞者数
全国社会福祉協議会会長表彰	３名
兵庫県知事表彰	６名
兵庫県ヘルパー功労賞	０名
兵庫県社会福祉協議会会長表彰	７名（理事含む）
三木市社会福祉協議会永年勤続表彰	１９名

（担当課：法人運営課）

（４）広報・啓発に関すること

①「社協だより」の発行及びホームページ等での情報発信

基盤計画
１－(3)

地域福祉の推進が住民に伝わる内容を中心に掲載。

（実績）
発行回数　６回/年
発行部数　１回１７，１００部（７年３月現在）

令和６年　５月　２５５号	令和６年度事業計画及び予算　他
令和６年　７月　２５６号	令和５年度事業報告及び決算　他
令和６年　９月　２５７号	能登半島地震関係、赤い羽根共同募金　他
令和６年１１月　２５８号	三木市社会福祉法人連絡協議会　他
令和７年　１月　２５９号	よりよい話し合いを進めるためのハンドブック作成他
令和７年　３月　２６０号	日常生活自立支援事業の紹介　他

※各号とも、ボランティア・講座・研修会等の案内／善意銀行預託報告／市民ふくし相談、成年後見相談を掲載。

（担当課：法人運営課）

②職員の講習会等への派遣

基盤計画
１－(3)

ア　社協職員の福祉専門職性を生かした各地域や市民活動団体・関係機関への福祉の勉強会、講習会等に対し職員を派遣
イ　社協の取組等について説明するため職員を派遣
会員会費の依頼等、各区長協議会への参加の検討
ウ　派遣方法の検討
情報発信ツール（ＳＮＳ等）を活用した方法の検討
（実績）
社協活動について、また各事業の説明、制度説明などで役職員が地域の会合や団体の会合等で説明に出向いた。
・三木市立志染小学校
地域活動等や本会事業の説明
・三木市立緑が丘東小学校、広野小学校
共同募金の使いみちである社協事業について
※専門的な事業内容の講演については、各事業で記載。

（担当課：法人運営課）

③社協活動の報告

基盤計画
１－(3)

ア　本会への理解と協力を促進するため、社協活動をまとめた広報紙の発行
イ　第４次地域福祉活動計画、事業計画、事業報告を各区長に配布し、本会への理解と協力を促進する。
（実績）
発行について
８月１日　３，５００部発行
配布方法
全戸回覧、希望団体へ配布

（担当課：法人運営課）

2　地域福祉推進体制の充実・発展

（１）地域コミュニティ活動の推進

①ふれあいサロン活動の支援

活動計画
1-1-(2)

さまざまな要因で閉じこもりがちな高齢者や障がいのある方々等の仲間づくりや互いに気にかけあい、支えあうコミュニティの基盤として一役を担うつどいの場（サロン）の開設を自治会単位、地区単位等で推奨した。

（実績）

ア　活動の相談支援

随時実施

イ　活動展開に必要な情報提供支援

サロンニュースの発行（８月・１０月）

ウ　開設・運営補助金の交付

助成金種類	交付サロン数
集いの場開設準備助成金	０サロン
年間活動助成金	８６サロン
民家・店舗等を活用して集いの場を開催するグループへの助成	２サロン

エ　参加者のケガに対応するための保険加入

共済・保険種類	加入件数	事故件数
ふれあいサロン・社協行事傷害補償	９４件	０件

オ　運営グループを対象とした研修会の開催

開催日：令和６年６月１５日（土）

参加者：５８人

内　容：①基調提案

「ふれあいサロンとは何か。なぜ推進するのか」

「ふれあいサロン活動に活かせる情報をご紹介！」

②レクリエーション

「サロンで楽しめるレクリエーション」

③グループワーク

「交流やつながりが深まるサロン運営の工夫について」

カ　開設継続と新規開設の推進

（開設状況）

地区	対象者別サロン数				
	全住民	高齢者	障がい者	子育て中の親子	その他
三　木	１２	２			
三木南	５	２			
別　所	４				
志　染	２				
細　川	４				
口吉川	１				
緑が丘	９	２			１
自由が丘	１０	６		２	

青　山	6	1			
吉　川	8	5		1	
広　域	1	2	1		6
小　計	６２	２０	1	3	7
合　計	９３				

・活動を休止していたサロンの再開や未登録のサロンへの声掛けにより、新たに４サロンの登録があった。
・ふれあいサロンを始めたい方のための資料を作成し、別所地区暮らし生活部会で説明を行った。

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

②気になるカードの取組推進

活動計画
1-1-(3)

住民同士が互いに気づかい、相手に関心を寄せるきっかけを作ることを目的として気になる方や世帯の状況を「気になるカード」に記載することで、自治会役員や民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、地域活動者などと社協職員が情報を共有し、課題等の解決に向けた対応を考える仕組みとして推進した。

次年度は生活支援体制整備事業の取組と関連づけて実施していく。

（実績）
・吉川地区で説明、取組を推進
・緑が丘中１丁目自治会で説明、取組を推進

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

③ふれあい会食会活動補助金事業

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等を対象に、不規則になりがちな食生活の改善と健康増進、一緒に食事を摂ることでの仲間づくりをすすめる活動を支援した。

（実績）

ア　参加人数ごとに定めた金額を補助

申請グループ名	補助回数	参加者数
ボランティア集い（つどい）	１１回	１３９人
自由が丘ふれあい給食調理Ｖ ほほえみの会	６回	２４６人

事業目的を意識した活動のための５つのチェックポイント

チェック項目	チェック数
特に「お誘いしたい人（気になる人）」に参加してもらえるようお声かけなどの工夫がありましたか？	6
対象者が「お客様」にならないように、何かできる方には役割づくりを意識していますか？	7
身体が不自由な方も参加しやすいように気をつけていますか？ ※会場内で快適に過ごせるように気にかける、家の近くまで出迎えるなど	0
参加しなくなった人や回数が減った人を気にかける話をされていますか？ ※民生委員・児童委員さんや地域の役員さんと話すのも方法の１つです	１０
会食会をきっかけに、ご近所同士で顔見知りになれる関係づくりを意識して開催していますか？	9
合　計	３２

イ　補助金要綱の見直しに合わせて、子ども食堂や地域食堂への補助を検討
ボランタリー活動プラザみき運営委員会で検討した。次年度、要綱や様式の見直しを行う。

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

④地域活動車の貸し出し

主体的な地域活動をはじめ、ボランティア・市民活動が発展できる環境づくりを支援するため、本会の公用車を「地域活動車」として、各種団体等に貸し出した。
（実績）

車種	貸し出し日数（月平均）	
	令和５年度	令和６年度
トラック	６４日　（５．３日）	４７日　（３．９日）
７人乗りワゴン車	１１５日　（９．６日）	５２日　（４．３日）
１０人乗りワゴン車	５９日　（４．９日）	６５日　（５．４日）
マイクロバス	３２日　（３．５日）	８７日　（９．６日）

月平均算出方法：貸出日数／月数

ア　地域ニーズの変化に伴う要綱の見直し及び利用方法の周知
・要綱の見直しについては、検討中である。
・トラックの貸出は、地域でのイベントや市の行事で使う資機材運搬を目的とするものであった。
・７人乗りワゴン車の利用内容は、サロン活動の参加者送迎がほとんどであった。
・１０人乗りワゴン車は、被災地訪問、サロンや研修、行事等のための利用であった。

イ　マイクロバスについては、運転を委託する事業者不在により、７月以降の新規予約受け付けを停止し、事業の実施方法見直しを図っている。

（担当課：法人運営課、ボランタリー活動プラザみき、はばたきの丘）

⑤誰もが利用しやすい施設づくり

≪デイサービスセンター≫
施設を拠点とした地域交流活動や地域で開催されるイベントに積極的に参加し、地域住民と施設利用者との交流に努めた。また、トレーニングマシンの一般開放や地域交流室をみっきぃ☆いきいき体操自主グループに貸し出し、地域住民の介護予防や健康づくりに努めた。

（具体的な取組）
ボランティア、地域住民との交流、トレーニングマシンの一般開放、地域交流室の有効活用など

（実績）　令和６年４月１日～令和７年３月３１日
ア　地域住民の生きがいづくり（みっきぃ☆いきいき体操自主教室・トレーニングマシン一般利用など）

施設名	内容	参加者数
三 木 東	みっきぃ☆いきいき体操自主教室 トレーニングマシン一般利用	１，２３３人
三 木 北	トレーニングマシン一般利用	４０２人
志　　染	みっきぃ☆いきいき体操自主教室	２７６人
ひまわり	みっきぃ☆いきいき体操自主教室、 トレーニングマシン一般利用	１，７７５人
自由が丘	みっきぃ☆いきいき体操自主教室	３，４８４人
合計		７，１７０人

イ　ボランティア、地域住民との交流（踊り、コーラス、太鼓など）

施設名	内容	参加者数
三木東	将棋、喫茶ボランティア等	１３８人
三木南	将棋、ハワイアン、ハンドベル等	６３人
三木北	南京玉すだれ、踊り等	４１人
志　染	喫茶ボランティア等	１１１人
細　川	書道ボランティア等	６２人
口吉川	ハワイアン、同行ボランティア等	１０４人
ひまわり	喫茶ボランティア、コーラス等	１４３人
自由が丘	コーラス、大正琴、陶芸等	１１５人
合計		７７７人

ウ　地域住民との交流（夏祭り、認定こども園等との交流など）

施設名	内容	参加者数
三木東	老人会花植え、三木東高校実習等	３６人
三木南	老人会花植え	１０人
三木北	三木中トライやる・ウィーク	５人
志　染	老人会花植え	１６人
細　川	三木中トライやる・ウィーク	２人
ひまわり	緑が丘小学校４年生交流会等	６１人
自由が丘	自由が丘中トライやる・ウィーク等	５２人
合計		１８２人

エ　地域交流室の有効活用

施設名	内容	参加者数
三木南	ボランティア控室	４０人
細川	ボランティア控室等	１５人
口吉川	ボランティア控室等	３６人
自由が丘	ボランティア控室等	１０６人
合計		１９７人

（担当課：地域生活支援課　各地域福祉センター）

≪はばたきの丘≫

ア　はばたきの丘を拠点とした地域交流活動

▽行事や勉強会の開催

・７月　はばたき音楽祭

・２月　地域向け勉強会（発達障がいの基礎理解と接し方について）

▽スヌーズレン室の運用

・利用者の定期的な利用

・外部見学者への紹介・体験

・地域の懇話会でスヌーズレン室の利用促進に向けてＰＲ

▼延べ人数　利用者：１０９名　見学者：１３５名

※スヌーズレン…「光」「音」「匂い」「振動」「温度」「触覚の素材」等の感覚刺激を組合せ、障害のある方でも楽しめるトータルリラクゼーション

イ　ボランティアの育成と交流

・各プログラム・作業・クラブ講師など活動の場の提供

・年末の集いにボランティアを招待

・ボランティア交流会の開催

▼登録者数：３０人・活動延べ人数：６５８人

月平均：５４．８人

ウ　地域行事や活動への参加

▽行事

・８月　　青山夏祭り出店参加

・１０月　三木市障がい者ふれあいスポーツ大会参加
・１１月　青山文化祭　作品出展
・１２月　令和６年度障がい者週間作品展示会出展
▽清掃活動を通じた地域との交流
・１１月　クリーンアップ大作戦
▽三木特別支援学校へのセラピスト派遣
・学校からの要請により１か月に１回学校を訪問し、教師からの相談に対しアドバイスを行う

エ　地域交流室の利用促進と有効活用
・施設見学・作業体験
・クラブ活動
・行事
・防災の会　等
▼延べ利用人数：５５９人

オ　情報発信
・機関紙「はばたきＴＩＭＥＳ」の発行（６月・１０月・２月）
・ホームページの作成
・ブログを作成し日々の活動を紹介

（担当課：はばたきの丘）

⑥地区福祉委員の設置

地区のニーズに基づき「地区福祉委員」を設置し、地域におけるくらし、生活での困りごとを抱える家庭の早期発見、必要な情報提供が行える体制の強化を図る。
課題等を共有する会議の開催を強化する。

（実績）
ア　地区福祉委員設置状況

吉川地区	９４人

イ　吉川地区福祉委員連絡会　３回開催　ブロック会議　１回

地区内での必要な情報提供が行えるよう研修や情報交換を行った。

開催日等	協　議　事　項　等
７月１１日	研修会 「認知症の理解を深める」 社会福祉法人 吉川福祉会　高齢者総合福祉施設　さざんかの郷　在宅介護支援センター　高木幸美氏 三木市中央地域包括支援センター　吉川サブセンター 黒田尚子氏　山岸豪紀氏
１１月１２日	研修会 「災害への備え」 三木市総合政策部危機管理課課長　山本隆之氏 ブロック会議 情報交換会 ・研修会の感想 ・地域活動（見守り・声かけ）をしてきた結果気づいたこと等 ・地域の課題、関心ごと ・気になる方、困ったこと等
２月２１日	研修会 「育児と、高齢者の暮らしを支える支援について」 （説明　三木市社会福祉協議会　ボランタリー活動プラザみき）

	（担当課：法人運営課）

（２）地域支えあい体制づくり

①支えあい協働会議の推進	
活動計画 1-1-(1)	民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、地域内活動者など、日常から住民の暮らし・生活の見守り等の取組を展開する活動者が活動を通して把握した個別の困りごとなどを共有し、みんなの問題として対応を話しあう場づくりを支援する。 （実績）行政区順に表記 ・三木南地区 日　程：７月１２日(金) 参加者：２８名 内　容：支えあいマップ作成による要配慮者、避難行動要支援者の把握・共有 警戒レベルについての講義 ・細川地区 日　程：７月１９日(金) 参加者：５８名 内　容：支えあいマップ作成による要配慮者、避難行動要支援者の把握・共有 警戒レベルについての講義 ・自由が丘地区 日　程：９月２８日(土) 参加者：４２名 内　容：認知症サポーター養成講座 グループワーク （担当課：ボランタリー活動プラザみき）
②地区支えあい活動計画づくりの推進	
活動計画 1-3-(1) 1-3-(2) 1-3-(3)	身近な暮らし・生活課題を話しあい、その解決に向けた取組を進めるための計画「地区支えあい活動計画」の策定を支援した。 （実績） ・三木南地区 １次計画の評価を実施した。２次計画策定支援を行った。 ・口吉川地区 市民協議会内で、計画策定の重要性を共有した。 次年度作成できるよう準備を進めた。 （担当課：ボランタリー活動プラザみき）
③支えあい活動エリアでの拠点づくり	
活動計画 1-2-(3)	住民がいつでも気軽に集まり、主体的に支えあい活動を進めることができる地域福祉活動拠点づくりを支援する。 （実績）なし （担当課：ボランタリー活動プラザみき）
④生活支援コーディネーター配置《市受託事業》	
活動計画 3-1-(1) 3-1-(2)	生活支援コーディネーターを４名配置し、市民協議会「暮らし・生活部会(２層協議体)」にて、住民の暮らし・生活のしづらさや課題を地域で共有し、支えあう体制づくりについて協議を支援した。

3-1-(3)

また、さまざまな機関が取り組むまちづくり等の事業や施策の活用、協働による課題解決等に結びつく学びやつながりの機会づくり、情報の収集および提供、コーディネートを行った。

ア　２層協議体設置地区　（８地区設置済）

・三木地区
市民協議会への参画前に、民生委員児童委員協議会の定例会へ出席の他、買い物支援を通じて住民と関係性構築に努めた。

・青山地区
市民協議会へ参画の提案を行った。

イ　住民と専門職、行政が共に福祉のまちづくりについて学び合う地域福祉研修の開催

回数	研修名
1	三木市地域福祉研修 開催日：８月２７日(火) 講　師：神戸学院大学　総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科　准教授　川本健太郎氏 対象者：福祉専門職・行政 参加数：４１人
2	ほっとけない！地域づくりを考えるつどい 開催日：１１月１７日(日) 講　師：神戸学院大学　総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科　講師　橋本力氏 対象者：地域活動者、ボランティア団体 参加数：８９人
3	三木市地域福祉研修 開催日：３月１１日(火) 講　師：神戸学院大学　総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科　准教授　川本健太郎氏 対象者：地域活動者、ボランティア団体、高齢者福祉の専門職、行政他 参加数：５５人

ウ　支えあい体制づくりに向けた協議

まちづくり協議会の暮らしや生活に関する取組をしている部会や運営委員会等に参加し、協議の場を支援した。

地区名	会議名	会議回数
三木南地区	暮らし・生活部会	７回
細川地区	暮らし・生活部会	４回
自由が丘地区	暮らし・生活部会	７回
別所地区	暮らし・生活部会	６回
口吉川地区	暮らし・生活部会	５回
緑が丘地区	暮らし部会	５回
志染地区	いきいきと暮らそう部会	７回
	志染の交通を考える特別委員会	２回
吉川地区	地域活性化部会	８回
	まちづくり協議会運営委員会	２回

エ　支えあい協働会議の開催（Ｐ２３（2）①支えあい協働会議の推進の項参照）

オ　支えあい体制づくりに向けた取組

各地域の生活課題に応じた取組の支援を①～⑥のとおり実施した。

①移動支援

地区名	取組内容
三木南地区 別所地区 志染地区	「デマンド型交通導入に向けて」 　まちづくり協議会の部会において協議の場において、停留所の設定や地域への広報活動について協議、検討を支援した。
細川地区	「買い物バス体験会」 　ふれあいバスと市内を運行している神姫バスの利用促進として、実際に乗車を体験する機会を支援した。 実施時期：１１月～３月 参 加 者：１７人／買い物サポーター：９人
口吉川地区	「ふれあいバス」利用促進のため広報活動を支援した。

②買い物支援

企業や行政、まちづくり協議会や区長協議会等と協議を重ね、買い物支援を実施した。

地区名	協力店舗名	開催曜日	停留所数	運行開始時期
口吉川地区	コープこうべ コープ三木緑が丘店	水曜日	２か所	令和６年６月１９日
口吉川地区		火曜日	１か所	令和６年８月２０日
細川地区		火曜日	３か所	令和６年８月２０日
志染地区		水曜日	３か所	令和６年６月１９日
		火曜日	１か所	令和６年８月２０日
三木地区	マックスバリュ三木北店	月曜日	７か所	令和７年１月２０日
別所地区		金曜日	１２か所	令和７年１月３１日
		水曜日	７か所	令和７年１月３１日

③介護予防

地区名	講座名		日時	受講者数
緑が丘地区	けんこうカレッジ	見て聞いて学べるツアーin 西播磨	１０月１日(火)	２０人
		車いす講習・体験＆福祉車両を知る	１０月１７日(木)	２人
		知ることからはじめよう！フレイル予防	１０月３１日(木)	１２人
		みっきぃ☆いきいき体操をはじめませんか？	１１月１日(金) ～１１月２９日(金)	８人
		ご存じですか？健康的な日常生活を送るための口腔ケア	１１月２０日(水)	１４人
		三木市高齢者ファミリーサポートセンター事業説明会および協力会員養成講座	１月２７日(月)	６人
細川地区	細川地域学校　スマホ講座		９月１２日(木)	９人
	細川地域学校　スマホ講座		３月１５日(土)	１２人
三木南地区	認知症予防プログラム　ミニ講座		３月８日(土)	２０人

④担い手育成

地区名	取組内容
三木地区	高齢者ファミリーサポートセンター事業の案内 　三木地区民生委員児童委員協議会の定例会にて、事業を周知する。 日時：９月４日(水)
細川地区	細川地域学校：クラブ活動を通して高齢者の社会参加の場づくりを実施

	① 米糀づくり体験会 日　時：１２月１４日(土)～１５日(日)／参加数：３人 ② 四季彩染物講座 日　時：２月２２日(土)／参加数：２人 ③ 味噌づくり体験会 日　時：３月１３日(木)～１６日(日)／参加数：３人 ④ とんぼ玉教室 日　時：３月２２日(土)／参加数：７人
自由が丘地区	認知症サポーター養成講座：認知症予防プログラムを開催していくにあたり、まずは地域の中で認知症の理解を深めることを目的に開催 （Ｐ２３（2）①支えあい協働会議の推進の項参照）
別所地区	ふれあいサロン説明会の開催：地域の集い場づくりにつながることを目的に開催。説明会終了後、サロンの立ち上げ相談が１件あった。
緑が丘地区	けんこうカレッジ：高齢者ファミリーサポートセンター事業説明会を行い、受講者から３人が協力会員登録へつながった。

⑤多世代交流

地区名	取組内容	参加数
三木南地区	「みなみえんにち」：三木南地区の「人と人」や「人と地域」を子どもたちが主体となり、地域資源を見つけ、取組内容を企画し、高齢者等の多世代交流の機会づくりを実施。 今年度は「みきみなみフェスティバル」を開催した。 準備期間：１０月１２日(土)、１０月１９日(土)、 １１月２日(土)、 １１月９日(土)、１２月７日(土) 行事本番：１２月８日(日)（三木南交流センターで開催） 内　　容：こどもボランティアによる出店、手形ツリーの制作	こどもボランティア １９人 サポートボランティア ８人 みきみなみフェスティバル来場者 １５６人
細川地区	「細川地域学校　細川いろいろたいけん隊」：細川地区の子どもたちが主体となり、細川町の活性化と多世代交流の機会づくりとして、細川町夏祭りへ出店した。 実施日：８月３日(土) 内　容：千本引き その他：山田錦の米糀を使った甘酒を使用した「糀アイス」の試作、レシピメモの作成を実施。千本引き参加者に、レシピメモを渡しながら、細川の特産を広める活動も行った。	８人

カ　情報発信

生活支援体制整備事業や「地域の暮らしと生活の取り組み」について情報を発信した。

・支援ケアマネ連絡会(５月２１日)
・地域福祉研修(各回)
・ホームページの開設

キ　災害時の支え合い体制支援

※支えあい協働会議の内容については割愛

地区名	取組内容
三木南地区	防災研修 開催日：３月２日(日) 内　容：支えあいマップの活用と避難経路の記載

	参加数：３２人
吉川地区	避難訓練 吉川町まちづくり協議会主催で「防災について」学ぶ機会を開催。

	吉川中学校	吉川小学校
日　時	１１月１６日(土)	１月１７日（金）
参加者	１５０人	１６５人
内　容	毛布担架訓練 紙スリッパ作成	段ボールベッド、簡易ベッド組立、折り紙食器作成

ク　その他

・三木地区大日自治会密集市街地改善事業への協力

回	日時	内容(協議など)
1	７月１６日(火)	・密集市街地改善事業の概要の説明 ・地域防災マップ、地域防災まちづくり計画の説明 ・先進地の事例紹介
2	１１月１０日(日)	・まち歩きを実施
3	３月１６日(日)	・地域防災マップ（案)、地域防災まちづくり計画（案）について意見交換

（担当課：ボランタリー活動プラザみき、地域生活支援課、相談支援課）

（３）ボランタリー活動相談・支援

①市民ボランティアコーディネーターの養成・配置

自分自身もボランティア・市民活動を行いながら、同じボランティアの立場で自らの経験をいかし、市民のボランタリー活動への参加・参画の相談やボランティアコーディネートを行う人材を養成、配置する取組。

数年、新たな人材の養成はないこととコーディネーターの集まる機会を作ることも困難だった。今後においては、特定の活動者に限定せず、現在活動している人それぞれができる範囲で、周囲の市民に対してボランティア活動に関する相談支援、情報提供をしていき、活動者のすそ野を広げていく方向に転換する。

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

②マッチング・相談支援

ボランティア・市民活動を求めている人とボランティア・市民活動の結び付けや、他団体とのコーディネート、情報提供等を行った。

（実績）

ア　マッチング（ボランティアとボランティアを求める個人・団体との調整件数）

（単位：件）

区　分		調整件数
在宅	高齢者	４２
	在宅障がい者	５４９
	在宅その他	２５９
施設		６２
病院		1
行政機関		１５
地域		９５
市民活動団体		2
当事者団体		2
学校		1
居宅介護事業所		2

その他	２１
合　　計	１，０５１

調整に要した日数/時間　　８９日３時間０分

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

③ボランティア共済・保険の加入促進

活動中の事故に備えて共済・保険の加入を促進した。

（実績）

共済・保険種類	加入者数	事故件数	
		傷害	賠償
全国ボランティア活動保険	１，９５７人	５	２
兵庫県ボランティア・市民活動災害共済	１，３１０人	２	０

共済・保険種類	加入件数	事故件数	
		傷害	賠償
全国ボランティア行事用保険	１８件	０	０
兵庫県ボランティア活動等行事用保険	１件	０	０
全国福祉サービス総合補償	３件	０	０
全国送迎サービス補償	３件	０	０

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

④活動資金づくり支援

ボランティア・市民活動団体が活動資金を得る機会として、各種助成金の啓発・申請支援を行った。

（実績）

ア　ひょうごボランタリー基金県民ボランタリー活動助成金のエントリー数１１５団体
イ　大和証券財団２０２４年度（第３１回）ボランティア活動助成の推薦３団体
　（うち交付決定２団体）
ウ　令和６年度大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」の推薦１団体（交付決定）
エ　公益財団法人みずほ教育福祉財団「ボランティア活動資金助成事業」（令和６年度）助成の推薦１団体（助成金交付決定）
オ　第３３回コープこうべ　虹の賞の推薦１団体（受賞決定）
カ　２０２４（令和６）年度　第２４回「なかしんふるさと賞」ボランティア活動部門の推薦１団体（受賞決定）

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

⑤みき善意銀行事業

ボランティア・市民活動団体やＮＰＯ法人等が主体的に寄付者となる多くの市民に自らの活動に共感や賛同を得ながら寄付を募る新たな仕組み「ボランティア・市民活動応援共感ファンド」を組み入れたみき善意銀行事業を展開した。

（実績）

第６期共感ファンドに応募のあった１団体を審査会で寄付金募集団体として決定。寄付金募集を行った結果、目標金額を１０万円強超える寄付金となり目標金額達成。金銭寄付のみではなく、物品寄付や活動に関しての問い合わせがあった。

団体名：三木さくらニャンズ（達成）　寄付総額３２２，６５７円

（担当課：法人運営課、ボランタリー活動プラザみき）

⑥ボランタリー活動の拠点整備

拠点、資源調達の相談、アドバイスを行った。また、市民活動センターの運営を通じ、ボランティア・市民活動者が効果的に活動展開できるよう基盤整備を進めた。

（実績）
ア　ボランティア・市民活動に必要な資機材（印刷機を含む）等の整備と貸出
・市民活動者：　６７０件
・地域　　：　１０８件
・当事者団体：　　６８件
イ　ボランティア・市民活動のイベントに関する申込受付：５件
ウ　利用しやすい市民活動センターを目指し、市民による施設サポーターの設置
・チームＳＲ（音響ボランティア）活動実績：６件
・チームＩＣＴ（パソコン相談）活動実績：４５件

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

⑦ボランティア・市民活動団体との協働会議

活動計画
2-1-(3)

「協働が進む、広がる」をテーマに、立場の違うもの同士が互いの違いを認めあい、共通の課題解決や共通の目標に向けて心合わせや力合わせで取組を行うための会議を開催した。

（実績）
ア　子ども食堂・地域食堂ネットワーク会議の開催
会議の開催：２回
・寄付食材の受給調整についての協議
・子ども食堂・地域食堂一覧づくり
・ネットワークの会則の作成
参加団体：１４団体
イ　三木市不登校・ひきこもり支援ネットワーク会議の開催
会議の開催（毎月第１火曜日）：８回
・組織のあり方について整理（理念・方針・目標）
・取り組みを推進する体制づくり
取り組み

開催日	内　容
６月２９日(土)	第２回不登校・ひきこもりを考える集い―明日へのステップ―」 不登校・ひきこもり体験者によるトークセッションと小グループでの意見交換
３月２３日(日)	ひきこもりのご家族のおしゃべり会 支援者から見た第一歩を踏み出したお話と座談会

参加団体：６団体
ウ　災害時の備えと構えを当事者、家族、支援者で考える集いの開催
会議の開催：２回
・今後の集いの方向性についての協議
参加者：１１人
エ　相談支援ネットワーク会議（仮称）の開催
実施なし
オ　セルフヘルプグループネットワーク会議（仮称）の検討
実施なし

（担当課：法人運営課、ボランタリー活動プラザみき、地域生活支援課、あんしんサポートセンター、相談支援課）

（４）ボランティア・フィールドワークの推進

①アクティブシニア倶楽部	
	アクティブシニア倶楽部５団体のメンバーを招集、連絡会を開催し、それぞれの活動状況と今後の思いを共有した。２団体はすでに活動を終了している。 社会情勢の変化により、シニア世代に限らず、あらゆる世代のボランティアへの関心を高め、担い手を育成していくことが望まれていること、ボランティアとは何かを学び、活動につながる仕組みづくりの必要性を確認した。 （担当課：ボランタリー活動プラザみき）

（５）ボランタリー活動者同士の連携・協働の推進

①みきボランタリーフェスタの開催	
	さまざまなボランティア・市民活動団体が一堂に会し、さまざまなボランティア・市民活動体験ができる場を設けた。また、団体同士が互いにつながりあうことで新たな社会課題や生活課題を解決していく市民力や地域力が高められていくことをめざしてフェスタを開催した。 （実績） 開催日　　１１月１７日（日） 来場者　　延べ２，５００人 ［内訳］ ・まちづくりの集い 講演「あなたの地域の存続・活性化！キーワードは女性！」 参加者：６３人 ・「ほっとけない！」地域づくりを考える集い 講演「住民目線で考える。専門職との関係性の構築」 グループワーク「わたしたちの暮らす町の専門職って？」 参加者：８９人 ・情報ひろば　活動紹介パネルの作成：１８団体 市民協議会・市民活動支援金事業該当団体紹介パネル展示：３７団体 ・体験ひろば 出展団体：２７団体 体験者延べ人数：２，１３１人 ・体験ひろば食の応援サポーター：３団体 体験者延べ人数：１９４人 （担当課：ボランタリー活動プラザみき）

（６）活動おこしのための機会づくり

①各種ボランティア・市民活動講座・研修事業	
活動計画 1-2-(1)	市民による多様なボランティア・市民活動やまちづくりが豊かに展開されるための講座・研修を企画、実施した。 ア　既存のボランティア・市民活動団体と協働で実施する各種ボランティア・市民活動講座の実施

講　座　名	参加者数
託児ボランティア養成講座	２人
聞こえのサポートボランティア入門講座	２人
聞き上手ボランティア講座	１６人
音楽療法ボランティア入門講座	８人
伴走・伴歩ボランティア養成講座	３人

イ　地域学校（学びの場）の実施

細川町豊かな町づくり推進協議会と細川町公民館と協働で細川地域学校を実施

開催日	スクール名・内容	参加者数
９月１２日(木)	スマホ講座 花アプリで自然観察	１１人
７月２０日(土)～ ８月３日(土)	細川いろいろたいけん隊　第１弾 こうじアイスをつくって夏祭りでお店を出そう！→ゲームに変更	８人
８月１０日(土)	四季彩染物講座	７人
１０月２７日(日)	細川歴史探訪＆ハイキング part３	中止
１２月１３日(金) ～１５日(日)	山田錦糀づくり体験会	４人
１月６日(月)～	細川いろいろ体験隊　第２弾 細川デイサービスセンターからのおつかいにでかけよう！	中止
２月２２日(土)	四季彩染物講座	７人
３月１４日(金)～	山田錦１００％使用 味噌作り体験	１人
３月１５日(土)	スマホ教室 スマホに触れよう！スマホを学ぼう！楽しもう！	１２人
３月２２日(土)	とんぼ玉体験教室	７人

ウ　アクティブシニアカレッジの見直し

メンバーで連絡会を開催（Ｐ３０：(4) ①アクティブシニア倶楽部参照）

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

（７）ボランタリー活動顕彰

①みきボランタリー活動賞

先駆的、先導的にボランタリー活動を継続し、その功績が顕著で他の模範となるものを表彰した。

（実績）

贈呈式：令和６年１１月１７日（日）

みきボランタリーフェスタ「ほっとけない！」地域づくりを考える集い

表彰団体：アクティブ美輝、神戸・心絆（ここな）

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

②みきボランタリー活動記章贈呈顕彰

社会の福祉を増進すると共に明るい豊かな地域社会づくりのために取り組まれている善行活動者を顕彰し、今後も一層の活動が期待できる者に記章を贈呈した。

（実績）

募集期間：５月１０日～６月１３日

選考会：６月２７日運営委員会にて開催

贈呈：郵送にて記章を贈呈(７月)

金記章：７人　　銀記章：１３人　　銅記章：７人

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

（８）防災と地域福祉の連携

①災害ボランティア活動の理解と参加促進	
	能登半島地震へのボランティア派遣、ボランティアバス、支援物資調整等、災害ボランティア活動への参加・行動への支援は行わなかったが、職員派遣や活動者への備品等の貸し出し協力を行った。 （担当課：ボランタリー活動プラザみき）
②災害時にも強い地域づくり体制の構築支援	
活動計画 1-1-(3) 1-1-(4)	地域防災訓練・学習の場を通じ、地域における助けあい・支えあい活動の推進をもとに、高齢者や障がいがある方などの災害時要援護者の支援体制を「支えあいマップ」づくり等を通じて推進した。 （実績） ア　高齢者や障がいのある方などの避難行動要援護者の把握と平常時からの支援体制を考える「支えあいマップ」づくりの推進 ・支えあい協働会議のテーマとして防災をあげている以下の地区やマップ作りをしたいという自治会において、災害時の対応を学び、支えあいマップの作成を支援した。 志染地区、三木南地区、細川地区、吉川地区 東自由が丘１丁目自治会、緑が丘町西２丁目自治会、緑が丘町中１丁目自治会 イ　「災害復旧後方支援みき軽トラ隊登録」事業の展開 ・防災研修時、チラシの配布や登録者の募集を行った。 登録者数：２４人 ウ　互いに気にかけあいながら誘い合わせて避難する「お連れ避難」の推進 ・西自由が丘（自由が丘（西）自治会）にて開催 エ　気になる方について、普段から住民と専門職が情報共有を行い、災害時に必要な対応がとれるよう連携を推進 ・生活支援体制整備事業「地域福祉研修」及び「ほっとけない！」地域づくりを考える集いにて住民と専門職が協働して地域づくりを進めていく重要性を研修した。 （担当課：ボランタリー活動プラザみき、地域生活支援課）
③災害時要援護者調査書（くらしあんしんシート）	
	災害時に自力で避難できない方の調査を民生委員・児童委員及び市と協働で実施した。 （実績） ア　登録件数：１，５９８件 イ　登録情報のデータ化（ファイルメーカー） ウ　登録情報を「ゼンリン地図アプリケーションＬmapⅣ」に反映 （担当課：地域生活支援課　あんしんサポートセンター）
④災害時要援護者個別支援計画に向けた準備	
活動計画 1-1-(4)	福祉専門職として災害と災害リスクを正しく理解し、避難行動や避難生活に支援が必要な本人や家族と災害時の備えや構えについて考えた。その考えや思いを自主防災組織や近隣、福祉サービス従事者や行政職員等と共有し、避難支援等につながる体制づくりを進めた。 （実績） 災害時の備えと構えを当事者、家族、支援者で考える集いの開催 （Ｐ２９：(3) ⑦ボランティア・市民活動団体との協働会議参照） 三木南地区防災訓練にて避難行動要支援者の指定緊急避難場所までの避難経路を記入、確認した。 （担当課：地域生活支援課　あんしんサポートセンター、はばたきの丘、ボランタリー活動プラザみき）

⑤災害ボランティアセンター運営等に関する調整	
	令和６年度は、三木市からの災害ボランティアセンター設置要請なし。 （担当課：法人運営課、ボランタリー活動プラザみき）

（９）共にありがとう活動

①三木市育児ファミリーサポートセンター事業《市受託事業》

地域において育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児について助けあう会員組織を運営した。

（実績）
会員数
総数　５２３人
（内訳）
依頼会員　３１７人
協力会員　１５９人
両方会員　４７人

マッチング

活動項目		延件数
①保育施設の保育開始前・後の預かり		１３２
②保育施設までの送迎		１５１
③放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり		８０
④学校放課後の預かり		0
⑤冠婚葬祭、学校行事の際の預かり		2
⑥買い物外出時の預かり		0
⑦上記以外の活動	Ａ子どもの病気時の預かり	0
	Ｂ小学校、養護学校などの登校前の子どもの預かり	５１
	Ｃ放課後児童クラブ、開始前の子どもの預かり	1
	Ｄ習い事等への子どもの送迎	１８４
	Ｅ保育所・学校等の休み時の子どもの預かり	４７
	Ｆ保護者兄弟・姉妹の習い事等の送迎を行う際のこども預かり	0
	Ｇ保護者等の病気、その他急用の場合の子どもの預かり	6
	Ｈ保護者の求職中の子どもの預かり	0
	Ｉ保護者の自宅就労、短時間・臨時的就労の場合の子どもの預かり	５１
	Ｊ保護者の趣味、リフレッシュの際の子どもの預かり	２３
	Ｋその他（上記いずれにも該当しない）	２２
合　　計		７５０

ア　協力会員養成講座「子育てサポート講座」の開催

育児ファミリーサポートセンターの概要について知る、また、協力会員や両方会員として預かり活動をはじめようとする方や、子育て中の方も学べる機会づくりとして開催。

回数	開催日	内容	参加者数
1	７月１０日	こどものホームケアについて	（延期）
2	９月１２日	障がいについて	９人
3	１１月６日	こどものホームケアについて	６人
4	１月１７日	こどもと防災について	３人

イ　両方会員・協力会員フォローアップ研修会「預かり活動報告会」の開催
協力会員や両方会員の活動がよりよいものになっていくよう学習会として開催

回数	開催日	内容	参加者数
1	１０月１０日	ベビー用品を知ろう！	６人

ウ　全会員を対象とした学びの場「救急救命講習会」の開催
小児、乳幼児の救急救命などについて学ぶ機会として開催

回数	開催日	内容	参加者数
1	６月１３日	心肺蘇生法と AED、応急手当編 （三木市消防本部）	６人 （内、協力会員４人）
2	８月７日	心肺蘇生法と AED、応急手当編 （日本赤十字社）	１０人 （内、協力会員１人）
3	１１月１９日	心肺蘇生法と AED、応急手当編 （三木市消防本部）	１０人 （内、協力会員２人）
4	３月８日	心肺蘇生法と AED、応急手当編 （日本赤十字社）	１２人 （内、協力会員５人）

エ　会員同士をつなぐ場「ファミサポ交流会」の開催
会員同士が交流を深める機会として開催

回数	開催日	内容	参加者数
1	５月１７日	バスで行く！牧場でバター体験！	１２人
2	１２月１４日	リースづくり	１２人
3	２月８日	「クッキング」お菓子作り	１９人

オ　連絡調整会議「サブリーダー会議」の開催
開催回数：６回/年
開催日：４月１０日、６月１３日、９月１２日、
１０月１０日 、１月１７日、３月８日

カ　ファミサポ通信の発行
発行回数：６回/年（奇数月）
発行部数：１回４，０００部

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

②三木市高齢者ファミリーサポートセンター事業《市受託事業》

地域において援助活動を依頼したい人(依頼会員)と援助活動を希望する人(協力会員)が互いに会員となって、高齢者等の生活について助けあう互助活動を行った。また第９期(R6～R8)介護保険事業計画に併せ、協力会員数を増加できるよう事業の啓発を行った。

（実績）
ア　協力会員養成講座の開催
援助活動を始めようとする協力会員向けの学びの機会として開催
【定期開催】

回数	開催日	参加者数
1	６月２０日	１人
2	８月２３日	１人
3	１０月２２日	０人
4	１２月１０日	０人

5	２月２１日	５人

【出前・随時対応】

回数	開催日	参加者数
1	４月　５日	１人
2	７月１６日	１人
3	８月２２日	１人
4	１月２７日	４人
5	１月３０日	１人
6	２月　５日	１人
7	２月　７日	１人
8	２月２８日	１人

イ　事業説明会

高齢者ファミリーサポートセンターの概要について知る機会を開催

【定期開催】

回数	開催日	参加者数	対象
1	６月２０日	２人	地域住民
2	８月２３日	２人	地域住民
3	１０月２２日	１人	地域住民
4	１２月１０日	０人	地域住民
5	２月２１日	５人	地域住民

【出前・随時対応】

回数	開催日	参加者数	対象
1	４月　５日	１人	地域住民
2	７月１６日	１人	地域住民
3	８月２２日	１人	地域住民
4	８月２５日	啓発のみ	大柿地区住民
5	９月　４日	４０人	三木地区 民生委員児童委員
6	１月２７日	６人	地域住民
7	１月３０日	１人	地域住民
8	２月　５日	１人	地域住民
9	２月　７日	１人	地域住民
１０	２月２８日	１人	地域住民

ウ　協力会員のための「研修会・連絡会」の開催

協力会員の学びを深める機会として開催

回数	開催日	内容	参加者数
1	１１月　５日	実大三次元震動破壊実験施設 （Ｅ－ディフェンス）見学	１０人
2	２月２５日	スマホセミナー	１３人

エ　高齢者ファミサポ新聞の発行

発行回数：２回/年

発行部数：２，４００部

オ　会員総数　４１５人

（内訳）依頼会員　３３５人

協力会員　　７４人

両方会員　　６人

カ　活動内容

活動項目	延回数	延べ時間
① 食事の準備、後片付け	2 回	2.50 時間
② 買物	132 回	129.50 時間
③ 掃除	532 回	591.50 時間
④ 洗濯	47 回	43.00 時間
⑤ 外出時の付き添い	20 回	39.00 時間
⑥ 話相手・安否確認	2 回	2.00 時間
⑦ 庭の手入れ（草引き・植え替え等）	675 回	1307.50 時間
⑧ その他（倉庫の整理・家具の搬出等）	96 回	112.50 時間
合　　計	1,506 回	2227.50 時間

（担当課：相談支援課）

③声の図書貸出事業

視覚に障がいがある方、その他視覚による表現の認識に障がいがある方を対象に、録音図書等の貸出を行った。

（実績）

ア　利用促進に向けた積極的なＰＲ

ボランティア・市民活動情報マガジン３１６号「わたしたちの暮らしを支えるまちの資源をご存じですか？」コーナーにて声の図書貸出事業を紹介。

イ　三木市立中央図書館にコーナー設置

毎月５タイトルの声の図書をコーナー設置

ウ　同じ目的をもったサービスとの有機的な連携

三木市立図書館だより「ふいご」にて毎月コーナー 設置している５タイトルを広報

エ　録音図書

保有数：３９４タイトル　貸出数：３３４回

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

④三木市福祉有償運送サービス事業

在宅で車いす等を利用している移動困難な方を対象にリフトカーでの送迎活動を行い、外出を支援した。

（実績）

送迎支援回数	走行距離	利用登録者数
１，０１８回	７，００７㎞	９４人

※車両運転ボランティア数：３１人

ア　互助事業としての積極的なＰＲ

・民生委員児童委員協議会定例会で啓発
・各地区文化祭・みきボランタリーフェスタにて団体による啓発活動
・ボランティア・市民活動情報「マガジン」で３回啓発記事を掲載
・緑が丘地区では、まちづくり協議会の取り組みとしてリフトカーと車イス体験会を実施
・公式 LINE で２回ボランティア募集記事を掲載

イ　運転ボランティアの養成と活動支援

・ブラッシュアップ運転者講習　参加者：３０人

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

⑤かるがもポイント事業

三木市育児ファミリーサポートセンター入会促進を目的に、入会時にポイントカードを発行。援助活動等で集めたポイントが地域の商店や施設で割引等の活用ができる仕組みを運営し、地域ぐるみの子育て応援を促進した。

（実績）

ア　次の行動に対しポイントを付与

①ファミサポ入会
②ファミサポの行事に参加
③ファミサポへの紹介入会
④援助活動
⑤「チームかえっこ」「おさがりあいっこサークル」主催行事への参加

イ　付与されたポイントが使える店舗・施設

・三木ホースランドパーク
・三木市消防本部
・三木労音
・万寿庵
・北欧館
・Ｌａｐｉｎ
・三寿ゞ刃物製作所
・よかたん
・ながしお農場
・ｃａｆｅ　ｆｌａｔ
・富田精肉店
・チームかえっこ&おさがりあいっこサークル

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

(10) ボランタリー活動の情報収集・発信

①ボランティア・市民活動団体、個人ボランティアの動向調査

把握するボランティア・市民活動実践団体および個人ボランティア・市民活動実践者数の現況を把握するための調査を実施した。

（実績）

ア　ボランティア・市民活動実践団体把握状況

主たる活動分野	団体数	主たる活動分野	団体数
健康・福祉・医療	１６１	国際協力	３
社会教育の推進	１	男女共同参画	０
まちづくり	２０	子どもの健全育成	３３
観光の振興	５	情報化社会の発展	１
中山間地域の振興	１	科学技術の活性化	０
文化・芸術・スポーツ	７４	経済活動の活性化	０
環境の保全	４１	職業能力の開発雇用機会	０
災害救護	６	消費者の保護	０
地域安全	８	団体への助言	１
人権擁護・平和推進	５		
		合　計	３６０団体

※市内所在地のＮＰＯ法人は３０団体

イ　個人ボランティア・市民活動実践者数

個人活動者把握数	６７人

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

②ボランティア・市民活動情報「マガジン」の発行	
	展開されているボランティア・市民活動の情報をはじめ、ボランティア募集やボランティア講座、各種助成金情報等を発信した。 （実績） 発行部数：３，０００部 発行回数：１２回 配布先：把握団体、個人活動者、法人等 （担当課：ボランタリー活動プラザみき）
③ボランティア・市民活動に関する資料（なるほどシリーズ）の作成と提供	
	ボランタリー活動に関する用語、意義等を解説した資料を作成した。 （実績） 互いに尊重しあい、誰もが安心して参加や参画できる話し合いの場のあり方やそのあるべき姿にむけての具体的な手段や方法などを示すハンドブックを作成した。 名　称：なるほどシリーズ№.４その① 「進行する人も 参加する人も みんなで進める話し合い」 なるほどシリーズ№.４その② 「やってよかった 対話を用いた話し合いハンドブック」 発行部数：各２，０００部 配 布 先：ボランティア・市民活動実践団体、ほっとけない！地域づくりを考える集いの参加者、三木市立中央図書館など （担当課：ボランタリー活動プラザみき）
④ＳＮＳ等を活用した情報の発信	
	ＳＮＳ等を活用したボランティア・市民活動に関する情報を発信した。 （実績） ア　Facebook ページ「ｅ-まちネット@みき」の運営 フォロワー数：３７５人 メッセージ配信数：８９回 イ　Facebook ページ「ぼらぷら情報局」の運営 フォロワー数：１１人 メッセージ配信：２回 ウ　LINE 公式アカウントによるメッセージ配信 登録者数：３４０人 メッセージ配信：２４回 エ　プラザホームページの運営 来訪者：延べ５，７６５人 オ　プラザ YouTube チャンネルの動画配信 作成動画数：２本 視聴回数：延べ１２２回 チャンネル登録者数：１１３人 カ　Instagram の有効性や活用に向けての研究 Instagram の有効性を検証するため、試行的に Instagram の開設・配信を行った。 フォロワー数：９０人 メッセージ配信：７回 （担当課：ボランタリー活動プラザみき）

3　日常生活自立支援の充実

（１）総合相談機能の取組

①市民ふくし相談所《市受託事業》

市民が気軽に相談できる窓口として、あらゆる悩みや複雑多岐にわたる相談に対応し、助言や援助を行った。

（実績）

ア　開設相談（一般相談、法律相談、生活援助相談）

《相談日》

名称	開催日	
一般相談	第２・３水曜日 第４土曜日	市民活動センター 相談室
	第１月曜日	吉川健康福祉センター
法律相談	毎月１回　第２水曜日	

《相談状況》

名称	開設回数	実相談件数	相談時間
一般相談	４８回	４８件	２９．２時間
法律相談	１２回	１６件	８時間
職員相談	随　時	３３件	１８時間

《相談事項別件数》

相談項目	一般相談		法律相談	取扱件数	解決件数
	相談員	職員			
１　生計	2	6	1	9	3
２　年金	0	0	0	0	0
３　職業・生業	1	0	0	1	1
４　住宅	6	2	3	１１	5
５　家族	4	6	0	１０	7
６　結婚	0	0	0	0	0
７　離婚	0	0	0	0	0
８　健康・衛生	1	0	0	1	1
９　医療	0	0	0	0	0
１０　精神衛生	2	1	0	3	2
１１　人権・法律	1	0	2	3	2
１２　財産	9	2	7	１８	１０
１３　事故	0	0	0	0	0
１４　ひきこもり	0	2	0	2	1
１５　教育・青少年	0	0	0	0	0
１６　心身障害者（児）福祉	0	0	0	0	0
１７　母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0
１８　老人福祉	1	2	0	3	2
１９　苦情	１０	3	2	１５	１３

２０　その他	１１	９	１	２１	１６
合　　計	４８	３３	１６	９７	６３

《相談員の人数》

一般	弁護士	合計
８人	２人	１０人

イ　相談員連絡会の開催

名称	日時	参加	内容
全体会	６月２５日	５人	相談内容、相談対応等

ウ　相談所についての広報・啓発
昨年に引き続き６月にチラシの全戸回覧を実施した。
生活困窮者等への食料支援の案内を行う際、市民ふくし相談所の案内を同封し事業の啓発を行った。

エ　関係機関との連携
三木市不登校・ひきこもり支援ネットワーク　ほっぷ☆すてっぷの会議に参加し、相談所と関係機関の情報交換を行った。

オ　相談員増員に向けた説明会・依頼の実施
民生・児童委員に向け説明会開催のチラシを配付した。

（担当課：相談支援課）

②権利擁護に関する相談窓口

高齢者・障がいのある方等の権利擁護に関する相談体制を整えた。権利擁護支援に関する常設の相談窓口を明示し、制度普及や利用促進に努めた。

高齢者・障がいのある方等が権利擁護に関する支援が受けられるよう相談体制を整備した。日常生活自立支援事業等の権利擁護支援に関する相談窓口において、制度普及や利用の促進、分野や制度を横断した権利擁護を総合的に推進した。

実績については、Ｐ４５：(3)②日常生活自立支援事業に掲載

（担当課：相談支援課）

③三木市成年後見支援センター事業《市受託事業》

活動計画
2-1-(2)

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行った。

（実績）
ア　成年後見制度に関する相談及び利用支援（相談状況）

名称	開催回数等	相談件数
一般相談　月～金曜日 ８：３０～１７：００	２４３日	１５４件
専門相談（司法書士等）による相談会	１２回	１８件

イ　成年後見人への活動支援

名称	開催数等
親族後見人等活動相談支援	相談件数に含む
専門職後見人活動相談支援	

ウ　成年後見制度に関する広報及び啓発

名称	開催回数等	参加人数
市民向け制度説明会 「映像で学ぶはじめての成年後見制度」	６回	１６人
市民のための成年後見制度研修会 （市民向け） １回目：成年後見制度と法テラス ～資力に不安があっても利用できます～ ２回目：成年後見制度と生前整理 ～もしもに備える認知症・医療・相続～	（市民向け） ２回	３７人
（関係者向け） ・成年後見人等と福祉医療関係者連携と協働のあり方について考える	（関係者向け） １回	２０人
	計３回	計５７人
成年後見・権利擁護セミナー 「知って備えよう成年後見制度と相続」	２回	８３人
出前説明会	５回	７８人

エ　成年後見制度にかかわる関係機関等との連携

〇交流会の開催

名称	開催日	参加人数
成年後見・権利擁護関係者交流会 ・くらしを守り、生きる希望を支える意思決定支援について	２月１２日	２５人

〇リーガルサポート兵庫（司法書士）との連携

〇ぱあとなあ兵庫（社会福祉士）との連携

オ　法人後見人・市民後見人（弁護士、司法書士その他専門知識を有する者以外の成年後見人をいう）の情報収集

カ　第二期成年後見制度利用促進基本計画（国基本計画）が示す市の施策協議等への参加

日程	内容
５月２７日	第１回中核機関設置準備会
６月２８日	第２回中核機関設置準備会
７月１２日	中核機関設置に向けた連携をすすめるためのツール（アセスメントシート）の検討
９月１２日	三木市における権利擁護支援（成年後見制度を含む）の中核機関設置に伴う三木市成年後見センター機能拡充について
９月２４日	正副会長会にて説明 三木市における権利擁護支援の中核機関設置に伴う協力について
１２月２０日	三木市成年後見支援センター運営協議会

（担当課：相談支援課）

④在宅介護支援センター《市受託事業》

総合的な相談に応じ介護等に関する各種の保健福祉サービスが受けられるよう各関係機関と連絡調整を行った。

（実績）

ア　相談実件数

年間２，２５４件(内訳:電話１，４２６件、来所２３９件、訪問５８９件)

イ　事業所別相談実績件数　（単位：件）

区分		口吉川	志染	ひまわり	三木南	三木東	三木北	自由が丘	細川	合計
相談実件数		234	486	287	346	256	361	188	96	2,254
相談延件数		245	478	319	495	388	534	200	130	2,789
	介護保険関係	185	431	262	294	209	296	150	92	1,919
	介護保険外	10	6	8	8	21	9	9	0	71
	虐待相談	1	1	0	1	0	0	0	0	3
	認知症相談	9	0	2	8	21	25	1	0	66
	権利擁護相談	1	0	1	0	4	2	0	0	8
	医療相談	28	35	38	145	130	185	26	32	619
	その他	11	5	8	39	3	17	14	6	103
連絡調整		66	210	64	274	131	190	36	93	1,064

ウ　要援護高齢者等実態把握件数　（単位：件）

区分	口吉川	志染	ひまわり	三木南	三木東	三木北	自由が丘	細川	合計
初回把握	16	36	22	18	23	1	4	12	132
再把握	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	16	36	22	18	23	1	4	12	132

エ　「食」の自立支援事業アセスメント業務

市介護保険課からの依頼により、対象者に対してアセスメントを実施した。

内容	件数
「食」の自立支援事業のアセスメント	１１件

オ　住宅改修理由書作成業務

市介護保険課からの依頼により、介護支援専門員が介護保険制度における住宅改修について理由書を作成した。

内容	件数
住宅改修理由書作成	３１件

（担当課：地域生活支援課　各地域福祉センター）

⑤あんしんサポートセンター

少子・高齢化の進行や家族、地域社会の変化に伴い個人にかかる課題が多様化するなかで、地域住民の誰もが気軽に相談できる窓口を市内８か所のデイサービスセンター内に設置し、課題解決に向けて取り組んだ。

ア　相談者　（人）

本人・家族	１５，０１８
民生委員・児童委員	３２
ボランティア	５
地域住民	４５
行政・機関	５５８
施設・サービス事業者	２，３８６
各種団体	１４６
計	１８，１９０

イ　相談件数（対象者別）　（件）

高齢者	１８，１１６
障がい者	１０
子育て中の親（子）	０
地域住民	５
計	１８，１３１

ウ　相談内容(件数)　(件)

内容	件数
介護保険関係	１６，８３９
健康・福祉サービス	２７９
虐待	９
認知症	８３７
権利擁護	４４
医療	２，９９５
日常生活	１，０３９
移動手段	６３
子育て	０
苦情	１
地域交流	２
地域活動・ボランティア活動	５
地域での見守り	２１
その他	４１９
合計	２２，５５３

(担当課：地域生活支援課　各地域福祉センター)

（２）介護予防の取組

①地域介護教室《市受託事業》

活動計画
2-2-(1)

高齢者自らが元気にいきいきと過ごすための介護予防に向けた取り組みができるように、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

地域	延開催回数	延参加者数	主な内容	実施事業所
東條町、新広陽、小林桜ヶ丘、君が峰、東紫美が丘、三木地区全域	１０回	１３８人	・認知症予防に関すること ・運動機能向上に関すること ・栄養に関すること ・コロナ５類になり今後注意すること ・口腔機能向上に関すること ・介護保険制度の利用について	三木東
高木、中町、小林、朝日が丘南三木南地区全域	6回	１０３人	・運動機能向上に関すること ・認知症予防に関すること	三木南
向陽園	1回	２３人	・免疫力アップについて	三木北
東吉田	1回	２１人	・運動機能向上に関すること ・介護サービスに関すること	志染
南畑、殿畑	3回	４２人	・認知症予防に関すること ・フレイル予防について	口吉川
細川中	1回	８人	・運動機能向上に関すること ・熱中症予防に関すること	細川
緑が丘中２丁目、緑が丘東４丁目、青山３丁目	3回	４６人	・運動機能向上に関すること ・認知症予防に関すること	ひまわり
あかねが丘、	6回	１３６人	・運動機能向上に関すること	自由が丘

中自由が丘、 自由が丘西、 学校北、白菊、			・栄養に関すること ・認知症予防に関すること ・口腔機能向上に関すること ・寒さに負けない体づくりについて	
合　　計	３１回	５１７人		

（担当課：地域生活支援課　各地域福祉センター）

②家族介護教室《市受託事業》

活動計画
2-2-(1)

家庭で高齢者等を介護している家族の身体的、精神的負担の軽減を目的に講話や実技を盛り込んだ家族介護教室を開催した。

実施日	実施場所	内容	人数	実施事業所
１月２４日	ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ三木東	福祉用具について	１１人	三木東
１０月１１日	ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ三木南	腸内環境と食事について	７人	三木南
３月１３日	ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ三木北	認知症への対応、自宅環境整備	１３人	三木北
１１月２６日	ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ志染	車いすの正しい操作､介護保険について	８人	志染
２月１０日	口吉川町公民館	介護保険を利用した住宅改修	２７人	口吉川
１０月１６日	ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰひまわり	排尿トラブルについて	１１人	ひまわり
１０月１８日	ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ自由が丘	在宅改修と福祉用具について	１５人	自由が丘
合　　計			９２人	

（担当課：地域生活支援課　各地域福祉センター）

③転倒骨折予防教室《市受託事業》

活動計画
2-2-(1)

筋力トレーニング「みっきぃ☆いきいき体操」や「みっきぃ☆健脚体操」を活用し、運動機能の維持・向上と介護予防についての理解を深めることを目的に転倒骨折予防教室を開催した。

（実績）

実施期間	実施場所	延参加者数	実施事業所
5 月 13 日～ 8 月 5 日	吉川健康福祉センター	１９１人	口吉川、細川、三木東、三木北
10 月 28 日～2 月 10 日	三木市立総合隣保館	１２８人	自由が丘、ひまわり、志染、三木南

（担当課：地域生活支援課　各地域福祉センター）

④三木市高齢者ボランティアポイント事業《市受託事業》

活動計画
1-1-(3)

６５歳以上の方を対象に、介護予防と自発的な社会参加に取り組む機会とし展開した。

（実績）
・事業説明会を随時実施
・登録者数：９０人
・ボランティア・市民活動情報マガジンにて広報
・登録施設にて活動後に交付（１２１６ポイント）
・高齢者ボランティアポイント新聞にて活動者の募集情報を掲載
・３月７日（金）１０：００～１２：００
　交付申請書と高齢者ボランティア活動手帳の受付
・毎月１０日までに活動実績を介護保険課へ提出

・活動先登録数：４１か所
・活動者延べ数

令和５年度	令和６年度
４８１人	６４６人
９５０ポイント	１２１６ポイント

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

⑤市「広報みき」の音訳・点訳版の発行≪市受託事業≫

毎月発行される「広報みき」の音訳・点訳版を製作し希望する視覚障がい者に対して配布した。

（実績）　（単位：人）

月	音訳版	点訳版
４月	１３	５
５月	１３	５
６月	１３	５
７月	１３	５
８月	１３	５
９月	１３	５

月	音訳版	点訳版
１０月	３４	１５
１１月	１２	５
１２月	１２	５
１月	１２	５
２月	１２	５
３月	１１	５

※１０月は選挙特集号を含む。

（担当課：ボランタリー活動プラザみき）

（３）権利擁護と自立支援の取組

①成年後見事業（法人後見）の開始に向けた準備

活動計画
2-2-(2)

本会が成年後見人、保佐人又は補助人となる法人後見の開始について、他県や他市町の状況を参考にしながら、必要な情報収集等を行い、事業の実施に向けた体制を検討した。

（先進地視察）
訪問日：令和６年１２月７日・２１日
場　所：三田市権利擁護・後見支援センター（三田市社会福祉協議会）
法人後見と並び重要となる市民後見人の養成について、幅広い対象に向け養成講座を実施している三田市の取組を視察

（担当課：相談支援課）

②日常生活自立支援事業《県社協受託事業》

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの判断能力に不安のある方が地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理支援、通帳・印鑑預かり等の支援を行った。

（実績）
ア　相談受付、契約締結業務
現契約件数　４１人
〔内訳〕

新規	６件
解約	１８件

活動回数	１，４２０回
相談件数	４，１７２件

イ　関係機関への事業啓発・連携
社協だよりに利用者や生活支援員の声を掲載し、事業啓発を行った。

成年後見支援センター実施の各種講座等で啓発を行った。

ウ　生活支援員の活動支援
生活支援員数　１９名
○情報交換会

開催日	参加人数	内容
８月６日	１２人	令和５年度実績報告、情報交換

○日常生活自立支援事業生活支援員研修会
１１月１４日　５名参加
○生活支援員の増員に向けた説明会の実施
１１月２８日　１名参加

エ　財産保全サービス
日常生活自立支援事業で預けることのできる金額を超え、かつ本人による金銭管理が難しい場合、成年後見制度への移行が考えられる。本サービスを利用することで、日常生活自立支援事業の利用継続を検討できるようにした。

（担当課：相談支援課）

③福祉機器貸出

介護が必要な方の在宅生活を快適にすると共に、介護者の負担を軽減するため、車いす・松葉杖の貸出しを行った。

（実績）
ア　長期・短期用福祉機器貸出し
【保有数】

名称	台数
車いす	１２１台
車いす（子ども用）	３台
松葉杖	５組
松葉杖（子ども用）	２組

【貸出受付件数】

名称	件数
車いす	２６５件
車いす（子ども用）	１３件
松葉杖	７件
松葉杖（子ども用）	０件

（担当課：相談支援課、地域生活支援課　各地域福祉センター）

④生活福祉資金貸付《県社協受託事業》

低所得等で他からの資金利用が困難な世帯に対して、経済的自立支援を図るため、兵庫県社会福祉協議会が運営する資金貸付事業の相談や申請受付等を行った。
「福祉資金」「教育支援資金」については、民生委員・児童委員と連携して申込から償還までの相談支援を行っている。また、「総合支援資金」については、生活困窮者自立支援制度の「自立相談支援事業」と連携し、相談対応を行った。

（実績）
ア　貸付に関する相談、申請受付　随時
イ　民生委員・児童委員、関係機関への事業啓発及び相談対応
教育支援資金について、市内の中学校、高等学校へチラシを配布した。
民生委員・児童委員については、個別の相談案件について相談対応を行った。

ウ　借受人等に対する相談支援

相談件数	２１８件 （相談延べ件数４３３回）
申請件数	１件

【本則貸付】

償還中件数（合計）		１２１件
	福祉資金	０件
	教育支援資金	６３件
	緊急小口資金	３件
	離職者支援資金	１件
	総合支援資金	５４件

【コロナ特例貸付】

	緊急小口資金	総合支援資金	総計
償還中件数	２２件	１７９件	２０１件
償還完了件数	６６件	１件	６７件
償還免除	１７６件	１８６件	３６２件
償還猶予中	１３件	１５件	２８件
償還期限後	１２３件	－	１２３件
総　計	４００件	３８１件	７８１件

（担当課：相談支援課）

⑤生活困窮者支援体制強化（ほっとかへんネットワーカー配置）事業《県社協補助事業》

新型コロナウイルス特例貸付を利用した借受世帯の支援を行う生活困窮者支援体制強化（ほっとかへんネットワーカー配置）事業を受託し、対象となる世帯の相談支援や情報提供等の支援を行った。

○生活困窮世帯食料支援事業

緊急的な支援が必要な世帯に対し、一時的に食料を支援。

実績：１件

○生活状況把握事業及び生活応援セット配付事業

共同募金配分金等を活用し食料品を購入し、新型コロナウイルス特例貸付利用者を対象に、生活状況を把握するとともに、「生活応援セット」として希望者に配付した。

協力団体：生活協同組合コープこうべ（お米を贈ろう募金、フードドライブ）

助 成 金：三木市共同募金委員会（配分金）、赤い羽根基金（中央共同募金会）

第１回	案内送付　７月１７日（水） 回答期限　７月３１日（水） 物品配布　８月２０日（火）～９月６日（金） 配布数　６９セット

○みんなの食堂ネットワーク会議に参加

○ひきこもり支援団体の会合（ほっぷ☆すてっぷ）に参加

（担当課：相談支援課）

⑥　生活困窮者等への食料品の無償提供の取組

みき善意銀行に寄託された食料品や企業、団体から提供された食料品を「子ども食堂」等を運営する活動団体や生活困窮者に無償提供し、支援を行う。

（実績）

	ア　生活協同組合コープこうべ第４地区本部との「食料等の無償提供に関する合意書」に基づく食料品の無償提供を行った。 イ　みき善意銀行寄託分の食料品の無償提供を行った。 ウ　マックスバリュ西日本株式会社との「フードバンク利用契約書」に基づく食料品の無償提供を行った。 （担当課：法人運営課、相談支援課）

4　在宅福祉・医療サービスの充実

（１）介護・医療サービス関連の取組

①訪問介護事業

基盤計画
２-(1)
４-(1)

ア　介護保険

介護保険法に基づき、介護や支援の必要な高齢者の居宅で、入浴・排せつ等の身体介護や調理・掃除等の生活援助を行い、利用者ニーズに沿った質の高い安定した訪問介護サービスを実施した。

①利用者状況（令和６年度末現在）

要介護者の利用者数　５７人
要支援者の利用者数　２８人
事業対象者の利用人数　１人

・介護度別利用者数(実利用者)　（単位：人）

事業対象者	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	暫定	合計
１	７	２１	２０	２１	９	６	１	０	８６

②サービス別利用実績(延べ派遣回数)　（単位：回）

区分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
身体介護	286	294	239	264	283	247	249	254	246	224	237	296	3,119
身体生活	304	271	263	298	270	255	269	249	190	181	147	178	2,875
生活援助	268	274	265	283	276	304	325	299	292	268	280	269	3,403
小計	858	839	767	845	829	806	843	802	728	673	664	743	9,397

イ　三木市子育て世帯支援事業《市受託事業》

妊娠・出産・育児に対して特に孤立感や負担感等のある家庭に、家事援助のホームヘルプサービスを実施した。

実利用者数　４人（令和６年度末現在）
延べ派遣回数　１９４回

・月別利用実績　（単位：回）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24	25	21	16	11	24	13	9	13	14	12	12	194

ウ　自主事業

制度では対応できない利用者に、身体介護や家事援助等生活する上で必要なサービスを自主事業として実施した。

実利用者数　１人（令和６年度末現在）
延べ派遣回数　６１回

・月別利用実績　（単位：回）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	4	6	4	5	5	6	6	4	6	5	4	61

（担当課：地域生活支援課　ヘルパーステーション）

②通所介護事業

基盤計画
２－(1)
４－(1)
４－(2)
４－(3)

介護や支援が必要な高齢者を三木市内８か所の施設で受け入れ、入浴・食事等日常生活の介助や機能訓練等を行い、地域や個人のニーズに基づいた質の高い安定した通所介護サービスを実施した。

ア　介護保険

①基本サービス提供時間　７時間以上～８時間未満

②営業日　月～土曜日　営業日数３０９日

③延べ利用者数

要介護者　年間　４６，９４２人

要支援者　年間　１０，７６６人

暫定(暫定ケアプラン)年間　６５８人

合計　年間　５８，３６６人

④年度末介護度別利用者数(実利用者)　(単位：人)

事業所名	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	暫定	合計
口吉川	6	17	13	14	5	1	2	0	58
志染	4	11	17	14	10	2	4	2	64
ひまわり	1	2	8	6	0	1	0	0	18
三木南	3	21	23	19	7	2	1	2	78
三木東	8	10	18	17	8	2	2	1	66
三木北	4	11	16	13	14	4	2	0	64
自由が丘	7	10	26	19	11	5	5	1	84
細川	5	7	10	13	9	1	0	1	46
合計	38	89	131	115	64	18	16	7	478

⑤事業所別利用実績(延べ利用者数)　(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	26	309
延べ利用者数	5,133	5,263	4,876	5,297	5,150	4,874	5,203	5,007	4,680	4,263	4,273	4,347	58,366
口吉川	590	615	561	615	614	597	655	561	519	515	543	543	6,928
志染	450	474	440	491	510	507	557	561	520	511	494	570	6,085
ひまわり	847	860	787	824	741	620	562	516	410	312	293	47	6,819
三木南	691	700	658	686	665	667	732	732	718	632	633	704	8,218
三木東	732	808	723	767	747	684	697	705	668	612	639	677	8,459
三木北	666	658	619	698	638	603	675	665	613	586	559	558	7,538
自由が丘	631	612	601	687	708	717	792	737	729	708	698	731	8,351
細川	526	536	487	529	527	479	533	530	503	387	414	517	5,968
一日平均 (定員)	197.4	202.4	195.0	196.2	190.7	195.0	192.7	192.6	187.2	177.6	178.0	167.2	189.3
口吉川 (35)	22.7	23.7	22.4	22.8	22.7	23.9	24.3	21.6	20.8	21.5	22.6	20.9	22.5
志染 (30)	17.3	18.2	17.6	18.2	18.9	20.3	20.6	21.6	20.8	21.3	20.6	21.9	19.8
ひまわり (45)	32.6	33.1	31.5	30.5	27.4	24.8	20.8	19.8	16.4	13.0	12.2	1.8	22.0
三木南 (40)	26.6	26.9	26.3	25.4	24.6	26.7	27.1	28.2	28.7	26.3	26.4	27.1	26.7
三木東 (40)	28.2	31.1	28.9	28.4	27.7	27.4	25.8	27.1	26.7	25.5	26.6	26.0	27.4
三木北 (35)	25.6	25.3	24.8	25.9	23.6	24.1	25.0	25.6	24.5	24.4	23.3	21.5	24.5
自由が丘 (40)	24.3	23.5	24.0	25.4	26.2	28.7	29.3	28.3	29.2	29.5	29.1	28.1	27.1
細川 (30)	20.2	20.6	19.5	19.6	19.5	19.2	19.7	20.4	20.1	16.1	17.3	19.9	19.3

イ　自主事業

介護予防・日常生活支援総合事業利用者で基本回数を超える利用希望者を対象に社協の自主事業でサービスを提供した。

①延べ利用回数　　２７５回

②事業所別利用実績(延べ利用回数)　　(単位：回)

事業所名	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
口吉川	6	3	4	5	4	5	4	4	6	4	4	6	55
志染	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
ひまわり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三木南	4	5	4	9	8	5	5	4	4	4	4	4	60
三木東	4	4	3	5	4	0	5	4	4	1	2	4	40
三木北	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	6
自由が丘	12	9	8	4	5	4	4	5	4	3	6	8	72
細川	0	2	2	2	3	2	4	3	6	3	8	3	38
合計	30	23	21	25	24	16	22	22	24	15	26	27	275

(担当課：地域生活支援課　各地域福祉センター)

③居宅介護支援事業

基盤計画
２－(1)
４－(1)
４－(2)
４－(3)

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるよう、各事業所に介護支援専門員を配置し、ケアプラン及び予防プラン等の作成を行った。

（実績）

ア　ケアプラン作成件数

①ケアプラン総数　年間　６，５４３件

②予防プラン総数　年間　１，８９２件(うち介護予防ケアマネジメント　５５６件)

③介護度別利用者数（実利用者）　　(単位：人)

事業所名	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
口吉川	7	19	19	15	6	5	3	74
志染	6	12	17	16	11	7	1	70
ひまわり	1	3	17	13	8	4	2	48
三木南	3	17	34	30	15	8	2	109
三木東	11	22	31	25	18	6	6	119
三木北	7	13	23	26	25	8	2	104
自由が丘	13	19	19	27	20	10	6	114
細川	1	11	9	4	5	4	0	34
合計	49	116	169	156	108	52	22	672

④事業所別ケアプラン作成件数　　(単位：件)

口吉川	57	54	54	52	53	53	56	56	53	55	52	48	643
志染	45	49	47	45	44	47	41	45	50	49	50	52	564
ひまわり	86	87	87	85	80	82	79	81	56	55	49	44	871
三木南	88	84	89	88	87	87	89	87	89	88	86	89	1,051
三木東	99	100	99	100	100	100	102	99	100	97	88	86	1,170
三木北	90	87	84	87	84	84	87	86	87	85	86	84	1,031
自由が丘	69	77	74	75	75	75	79	78	84	93	84	82	945
細川	30	28	26	24	24	22	20	21	19	17	15	22	268
合　計	564	566	560	556	547	550	553	553	538	539	510	507	6,543

⑤事業所別予防プラン受託件数（介護予防ケアマネジメント含む）　　(単位：件)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
口吉川	22	23	21	21	20	24	24	25	25	25	25	26	281
志染	17	20	20	19	18	18	19	19	20	20	17	18	225
ひまわり	10	11	10	10	10	10	10	10	5	5	5	4	100
三木南	17	18	20	19	21	20	20	21	20	20	19	20	235
三木東	27	31	30	34	32	33	35	38	37	37	34	33	401
三木北	20	20	18	19	21	20	21	20	20	19	19	20	237
自由が丘	20	19	20	18	18	19	22	26	25	27	26	32	272
細川	10	10	11	12	11	11	12	12	13	14	13	12	141
合計	143	152	150	152	151	155	163	171	165	167	158	165	1,892

イ　要介護認定の訪問調査《市受託事業》

介護支援専門員が三木市及び三木市外からの依頼に基づき、要介護認定調査を行った。

①事業所別調査件数

三木市　年間　２８８件、三木市外　年間　６８件　（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
口吉川	6	5	1	2	1	3	1	6	3	6	4	4	42
志染	3	3	1	4	0	0	3	2	1	1	6	4	28
ひまわり	4	2	2	5	5	5	4	3	1	3	3	1	38
三木南	2	5	2	0	1	7	2	3	16	3	6	6	53
三木東	7	6	2	5	4	6	5	6	10	3	10	12	76
三木北	5	9	5	4	3	5	6	5	5	1	3	4	55
自由が丘	4	5	4	2	1	1	2	4	6	2	9	5	45
細川	0	1	1	2	2	2	1	2	1	2	1	4	19
合計	31	36	18	24	17	29	24	31	43	21	42	40	356

（担当課：地域生活支援課　各地域福祉センター）

④訪問看護事業

基盤計画
２-(1)
４-(1)

医療的なケアが必要な利用者に対し、在宅での生活が継続できるよう訪問看護や訪問リハビリテーションを実施した。

（実績）

ア　年度末利用者状況

①介護保険の利用者数　　４３人

②医療保険の利用者数　　１７人

合計　６０人

③介護度別利用者数（実利用者）　（単位：人）

要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	暫定	医療保険	合計
２	４	１１	１０	６	４	５	１	１７	６０

④事業別利用実績(延べ派遣回数)　　(単位：回)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	20分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(緊急)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30分未満	91	88	83	84	83	75	90	82	92	82	73	88	1,011
	(緊急)	1	3	2	3	9	5	3	5	3	4	0	4	42
	30-60	79	79	69	94	89	87	99	80	60	59	59	56	910
	(緊急)	0	1	3	2	5	5	5	2	5	4	2	5	39
	60-90	7	9	4	1	1	0	0	2	2	3	1	0	30
	(緊急)	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3
	90分以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PT 20分	1	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	PT 40分	53	56	39	45	43	45	51	36	40	35	29	40	512
	PT 60分	4	2	3	3	3	2	4	6	2	4	4	4	41
	小 計	236	239	203	235	235	219	252	214	205	191	168	197	2,594
医療保険		142	142	125	183	121	166	157	161	189	159	120	100	1,765
医療保険(緊急)		3	4	9	11	10	12	11	18	8	12	10	5	113
自主事業		3	3	4	8	5	5	3	9	11	8	6	4	69
合 計		384	388	341	437	371	402	423	402	413	370	304	306	4,541

※PT は理学療法士の派遣

(担当課：地域生活支援課　訪問看護ステーション)

（２）障害福祉サービス関連の取組

①障害福祉サービス事業

基盤計画
２-(1)
４-(1)
４-(2)

＜生活介護＞

他事業との合同活動やボランティアとのかかわりを通して他者とのつながりをもち、コミュニケーションを図ることができた。利用者の思いを丁寧に聞き取り、意思を尊重した支援を行った。また、利用者の状況に合わせて様々な福祉機器や装具等について対応方法を検討し、利用者・職員相互の負担軽減を図った。

（実績）生活介護
定員２０人（目標利用者数１８．０人）　　(単位：人)

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
営業日数	21	21	20	23	21	19	23	20	20	19	18	20	245
契約者数	28	28	28	28	29	29	28	28	28	27	26	27	
延利用人数	342	349	340	369	349	313	346	289	293	278	241	296	3,805
平均利用者数	16.3	16.6	17.0	16.0	16.6	16.5	15.0	14.5	14.7	14.6	13.4	14.8	15.5

平均障害支援区分５．５

＜自立訓練（機能訓練・生活訓練）＞

個々に応じた身体機能の向上を目指したプログラムや、生活力の向上・就労を目的とした訓練を行った。事業終了後の進路の選択肢拡大に向けて、複数の施設見学、実習を実施した。社会生活力自立度評価（SIM）の運用に向けて準備する中で、プログラムの充実を図ることができた。実習や体験、見学者を積極的に受け入れ、自立訓練の目的や内容を丁寧に伝えることで事業の理解につなげ、新規利用者の確保に努めた。

（実績）自立訓練(機能訓練)

定員６人（目標利用者数２．０人）　（単位：人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
営業日数	21	21	20	23	21	19	23	20	20	19	18	20	245
契約者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
延利用人数	35	33	36	35	32	31	33	33	34	28	31	36	397
平均利用者数	1.7	1.6	1.8	1.5	1.5	1.6	1.4	1.7	1.7	1.5	1.7	1.8	1.6

（実績）自立訓練(生活訓練)

定員８人（目標利用者数２．０人）　（単位：人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
営業日数	21	21	20	23	21	19	23	20	20	19	18	20	245
契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
延利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均利用者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

＜就労継続支援Ｂ型＞

引き続き安全用品の下請け作業を行った。利用者リーダーの育成では新たなリーダーが育ち、仲間と協力して働く意識が高まった。就労準備性が整った利用者には関係機関と連携し、企業見学や実習などの就労支援を行った。また、高齢化や心身の状態の変化により作業や集団行動が難しくなった利用者には、他事業（生活介護）への移行を支援し、より充実した日中活動ができるようになった。

（実績）就労継続支援Ｂ型

定員２６人（目標利用者数２２．０人）　（単位：人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
営業日数	21	21	20	23	21	19	23	20	20	19	18	20	245
契約者数	23	23	23	23	22	22	21	21	21	21	21	20	
延利用人数	413	420	399	457	403	374	438	382	381	343	336	365	4,711
平均利用者数	19.7	20.0	20.0	19.9	19.2	19.7	19.0	19.1	19.1	18.1	18.7	18.3	19.2

年間工賃額（円）	８，７２１，９７５
対象者数（年延利用人数）	４，７１１
１人あたりの月平均工賃額（円）	３７，６６０

※１人あたりの月平均工賃額＝総工賃÷（年延利用人数÷年開所日数）÷１２
（令和５年度実績より計算方式の変更あり）

＜安心安全を守る施設運営＞

ア　虐待防止、身体拘束の適正化、差別解消に係る取組
- 虐待防止・身体拘束適正化・差別解消（合理的配慮）研修実施
- 虐待防止チェックリスト
- 各指針の見直し

イ　感染症対策
- 医務室便りの発行
- 利用者向け手洗い研修実施
- 職員向け感染対策研修・ＢＣＰ研修実施

ウ　防災、防犯対策
- 総合防災訓練、防犯避難訓練実施

・法定設備点検・自主設備点検実施
・ＢＣＰ訓練実施
・災害用伝言ダイヤルＷＥＢ171訓練実施
エ　事故防止対策
・インシデントの積極的な報告と振り返り
・第三者委員会報告
・危険予知訓練実施
・普通救急救命講習受講
・喉詰め対応、心肺蘇生訓練実施

※定期的なリスクマネジメント委員会で各委員会の取り組みを確認した

（担当課：はばたきの丘）

②日中一時支援事業

障がいのある方の家族が病気や用事、休息をとるために、障がい児・者を一時的に預かり日中活動を支援した。個々のニーズに合わせほぼ希望通りに受けることができた。

（実績）
定員４人　　（単位：人）

	契約者数	延利用人数
障がい児・者	１０	２３５

（年間目標利用者数２００人）

（担当課：はばたきの丘）

③障害児入浴サービス事業《市受託事業》

家庭での入浴が困難な障がい児に対し、入浴サービスを実施した。個々のニーズに合わせてほぼ希望通りに受け、安全で快適な入浴環境とサービスを提供することができた。

（実績）
定員３人　（単位：人）

	契約者数	延利用人数
障がい児	４	２５４

（年間目標利用者数１５０人）

（担当課：はばたきの丘）

④生活介護事業

障害者総合支援法に基づく生活介護サービスを提供し、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して利用できるよう通所サービスを実施した。

（実績）
ア　年度末利用者状況
実利用者数　　５人
延べ利用回数　年間１９５回

事業所別利用実績（延べ利用回数）　（単位：回）

事業所名	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
口吉川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
志　染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひまわり	3	5	3	5	4	4	0	0	0	0	0	0	24
三木南	2	1	2	1	2	1	2	3	2	1	3	3	23
三木東	1	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	9
三木北	5	4	4	5	4	5	4	4	4	5	4	5	53
自由が丘	5	6	4	5	6	6	6	6	6	4	6	5	65
細　川	0	0	0	0	0	0	3	3	4	3	5	3	21
合計	16	17	14	16	17	17	16	16	17	14	18	17	195

（担当課：地域生活支援課　各地域福祉センター）

⑤ホームヘルプサービス（訪問介護）事業

障害者総合支援法に基づく訪問介護事業を提供し、障がいのある方が安心して日常生活を送れるよう、ニーズに合った質の高い訪問サービスを実施した。

（実績）

ア　年度末サービス種類別利用者状況

身体介護の利用者　　９人
家事援助の利用者　　５人
同行援護の利用者　　５人
行動援護の利用者　　０人
移動支援の利用者　　６人
計２５人

サービス別利用実績（延べ派遣回数）　（単位：回）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	87	98	102	109	105	108	137	123	121	124	128	111	1,353
家事援助	72	77	66	78	73	70	61	66	66	62	57	63	811
同行援護	30	31	29	34	27	35	30	33	32	26	27	24	358
行動援護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移動支援	9	7	7	10	8	12	8	7	7	9	5	9	98
合計	198	213	204	231	213	225	236	229	226	221	217	207	2,620

イ　虐待防止研修の実施

開催日	内容	参加人数
４月２５日	訪問介護における法令遵守と虐待防止について	２４人

（担当課：地域生活支援課　ヘルパーステーション）

区長協議会連合会定例理事会資料

（公印省略）
三社協第１１４号
令和７年８月１日

各　区　長　様

三木市社会福祉協議会
会長　植　田　吉　則

「令和６年度三木市社会福祉協議会活動報告」回覧の
ご協力について（ご依頼）

晩夏の候　区長様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申しあげます。

平素は、本会事業につきましてご理解、ご協力をいただき厚くお礼申しあげます。

さてこのたび、本会の一年間の活動について会員の皆様方にご周知いただきたく、社協活動報告を作成いたしました。特に皆様方にご協力いただいております社協会費、善意募金、赤い羽根共同募金を活用させていただき実施しています地域福祉の取組についてご報告をさせていただければと存じます。

つきましては、お手数をおかけいたしますが、貴自治会において回覧により啓発のご協力をいただきたくお願い申しあげます。

【お問合せ先】
三木市社会福祉協議会
三木市大塚１－６－４０
（三木市総合保健福祉センター２階）
電話（０７９４）８２－４０４３

あなたとともに

三木市社協ではさまざまな福祉事業を行っています。その多くはボランティアや地域住民、各種団体の協力、協働により進めています。これからも「あなたとともに」すみよいまちをつくっていきます。

相談支援事業

あんしんサポートセンター

生活の困りごとや介護に関すること、ケアプランなどの相談窓口です。
地域からの依頼を受けて、住民の皆さんが元気に暮らすための健康講座も実施しています。

（地域介護教室）

権利擁護デスク

成年後見制度をはじめとした権利擁護に関することや生活の困りごとなどの相談窓口です。成年後見制度に関する啓発講座も実施しています。

（日常生活自立支援事業）

介護保険・障害福祉サービス事業

介護保険・障害福祉サービス事業に取り組んでいます。通所介護（デイサービス）、訪問介護（ホームヘルプ）、訪問看護、居宅介護支援（ケアマネジメント）、障害福祉サービス（生活介護、自立訓練、就労支援など）事業では、さまざまな場面でボランティアや各種団体の協力があります。

デイサービスセンター

地域のボランティアにご協力いただき、さまざまなイベントを実施しています。

（デイサービスセンター施設行事）

1日平均
189.3名が
利用

三木市立障害者総合支援センター はばたきの丘

充実した日常生活が送れるよう多様な活動に取り組んでいます。

（はばたきの丘の施設行事）

1日平均
約36.3名が
利用

miki 社協
社会福祉法人 三木市社会福祉協議会
〒673-0413　三木市大塚1丁目6－40
電話 0794-82-4043　FAX 0794-86-0860

本会の運営は皆さまからの会費で支えられています。

2025.8

miki 社協 三木市社会福祉協議会活動報告 2024

あなたが支え あなたとつながり ともにすみよいまちをつくる

三木市社協

社協の活動と、活動を支える募金や寄付金について皆さまに報告します

「『シャキョウ』って、聞いたことはあるけれど・・・」「私たちが協力した募金は何に使われているの？」。このような住民の皆さまの質問や疑問に、少しでもわかりやすくお伝えしたい、という思いでこの活動報告を発行して6年目になります。

シャキョウは、「社会福祉協議会」の略称です。社協は、「地域福祉の推進」を住民の皆さま、行政、関係者と一緒に進める民間の団体です。地域福祉は、行政やボランティア、関係機関だけでなく、住民の皆さま一人ひとりが主役となって、活躍してこそ進められるものです。

また、社協が各自治会や各種ボランティアと共に進める地域福祉活動や取組は、自治会や関係機関を通じた各種募金によっても大きく支えられています。皆さまのボランティア活動への参加や募金への協力、それぞれが、福祉のまちづくりを支えています。

本紙をきっかけに自分たちのまちの地域福祉活動に気づきや関心を持っていただければ幸いに思います。

これからも、**「あなたが支え あなたとつながり ともにすみよいまちをつくる 三木市社協」**をよろしくお願いします。

三木市社会福祉協議会　会長　植田　吉則

あなたが支える ～赤い羽根共同募金～

自治会、民生委員・児童委員、企業、学校など、
皆さんの募金や活動が赤い羽根共同募金運動を支えています。

◉ふれあいサロン活動の支援

ふれあいサロン市内86か所（R7.3末）

赤い羽根共同募金 160万円

住民同士の「つながり」づくりを目的とする身近な集いの場を支援しています。

みっきぃ福祉マップ

赤い羽根共同募金15万円

ちょっとした疑問や困りごとを相談できる先として、各分野別の窓口を集めたマップを作成しました。

作成にあたっては、ボランティアを募集し、チームで協議を行いました。

ボランティア活動者の養成

赤い羽根共同募金 25万円

さまざまなボランティア養成講座を開催しています。

また、活動者向けの冊子も作成しました。

登録ボランティア
約6,900名が
活躍中!
※社協把握団体・個人計

生活困窮者への相談と食料支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活困窮状態にある方へ相談支援とともに食料支援を行いました。

あなたとつながる

事業や活動を通じて、あなたと社協が、あなたと福祉専門職がつながったり、
ボランティア活動者がつながっています。

みきボランタリーフェスタ

体験ひろば

ほっとけない！地域づくりを考える集い

あなたが支える ～善意募金～

善意募金が支援の必要な人を支え、地域の福祉を支えています。

◉福祉有償運送サービス

在宅で車いす等を利用している移動困難な方を対象にリフトカーでの送迎活動を行い、外出を支援しています。

善意募金 270万円

年間利用回数 1,018回

登録者数 94名
運転ボランティア 31名
（4グループ）

善意募金 15万円

◉車いす・松葉杖の貸出

デイサービスセンター、総合保健福祉センター、吉川健康福祉センターで貸し出しをしています。

令和6年度 285件

あなたの支えが、つながっていく

支援の必要な方につながる

善意銀行に寄せられた地域住民、企業からの米やレトルト食品などが子ども食堂・地域食堂や生活困窮者支援につながっています。

★みき善意銀行寄託
（米、菓子、インスタント食品、レトルト食品など）

あなたの思いが、地域の未来を支える力になります

自らが育った地域の福祉にと、全国的に遺言や相続による寄付が増えてきています。三木市社会福祉協議会でも2024年度に高額のご寄付をいただきました。

今回のご寄付は、住民の皆さまにも話し合いに入っていただき、地域福祉のために、大切に活用できるよう検討しています。

令和７年８月１日

各　区　長　　様

兵庫県北播磨県民局
局長　成田　徹一

基礎調査の結果チラシの回覧について（依頼）

晩夏の候、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。
日頃は、県行政につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。
さて、現地調査結果のお知らせチラシの全戸回覧について、お忙しいところお手数をおかけしますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

記

１　送付物　　現地調査　結果のお知らせチラシ
２　送付部数　　貴地区の回覧部数
３　連絡先　　北播磨県民局 加東土木事務所
加東市社１０７５－２
担当　河川砂防課　片岡　浩
電話番号　0795－42－9399

回覧										

関係者の皆様へ

令 和 7 年 8 月
兵庫県北播磨県民局
加東土木事務所

三木市　土砂災害(特別)警戒区域確認のための基礎調査結果のお知らせ（急傾斜地の崩壊・土石流）

1．今回の現地調査（基礎調査）について

平素より、県の土木行政につきましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、昨年 12 月に回覧にてお知らせしておりました土砂災害（特別）警戒区域確認のための現地調査（基礎調査）について、皆様のご協力のもと、無事に終了いたしました。
つきましては、調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

【基礎調査の概要】
- 土地の使用状況や住宅等の把握
- 指定要件を満たしているにもかかわらず指定されていない箇所の新規指定
- 現地での地形調査（現地踏査、測量）による土砂災害警戒区域の変更

2．調査結果

既指定区域について基本的に区域の変更はありませんでしたが、指定要件を満たさなくなった土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）の解除予定箇所が 2 箇所ございます。

急傾斜地の崩壊・・・179 箇所の調査を行いました。
（内訳）
〇警戒区域解除予定箇所・・・2 箇所
吉川町法光寺：法光寺Ⅱ（解除理由　開発による斜面消失）
吉川町吉安　：吉安上Ⅲ（解除理由　開発により指定要件を満たさない）
〇変更無の箇所　　・・・177 箇所
土石流・・・69 箇所の調査を行いました。
土石流は区域の新規設定、解除、変更等はありませんでした。

3．お問い合わせ先

〇兵庫県北播磨県民局
加東土木事務所 河川砂防課　　担当　片岡　（TEL:0795-42-9399）
〇三木市
都市整備部　プロジェクト推進課　担当　丸谷　（TEL:0794-82-2000）

8

2025

vol.528

ひろがれ！じんけんネットワーク

人権啓発紙

隣保館だより

ホームページURL
https://www.city.miki.lg.jp/site/sougourinpokan/

8月は人権尊重のまちづくり推進強調月間です

全国各地のユネスコ協会が実施している「平和の鐘を鳴らそう」運動。三木市ユネスコ協会でも毎年夏に会員と小・中・高校生の代表、一般市民に呼びかけ、市内各所で「平和の鐘」を鳴らしてきました。写真は令和5年7月27日の活動の様子。（三木市上の丸町　雲龍寺鐘楼前で撮影）

【次ページ】

■「人権の小窓」　みんなで平和の鐘を鳴らそう　三木市ユネスコ協会

【裏　面】

■ 8月隣保館カレンダー

■ 8/16(土）「市民じんけんの集い」のお知らせ

■ 10/4（土）隣保館フィールドワーク（北淡震災記念公園）参加者募集

人権の小窓（279）

みんなで平和の鐘を鳴らそう

三木市ユネスコ協会

三木市ユネスコ協会の取組

三木市ユネスコ協会は、2024年7月25日、志染小学校を会場に「平和の鐘を鳴らそう」というキャンペーンを行いました。この活動は、2003年の協会設立当初から毎年夏に実施しており、過去には吉川総合公園、三木市文化会館、中央公民館、雲龍寺、自由が丘公民館等市内各所で開催してきました。私たち三木市ユネスコ協会の大切なイベントの一つです。

この日も平和を願う市内小・中・高校生の児童・生徒をはじめ一般市民も含む約100名が体育館に集まりました。

最初に参加者全員でユネスコの歌「手に手をとって」を斉唱し、続いて参加児童・生徒の代表がユネスコ憲章前文を朗読しました。ユネスコ憲章の中には、

「この機関の目的は国際連合憲章が世界の諸人民に対して人種、性、言語又は宗教の差別なく確認している正義、法の支配、人権及び基本的自由に対する普遍的な尊重を助長するために教育、科学及び文化を通じて諸国の間の協力を促進することによって、平和及び安全に貢献することである。」

という一文があります。端的に言えば、人権の尊重こそが平和を築くことにつながるということです。すこし難解な文言ですが若い感性を持つ児童生徒の朗読は溌溂（はつらつ）と、そして爽やかに平和の大切さを訴えました。

次に、小中高生数名が平和についてそれぞれの思いを発表しました。

「相手のことを知ることから始める」
「学校に通ってお腹いっぱい食べられる毎日に感謝」
「杉原千畝のリトアニアでの命のビザ発給を知る」
「家族と笑顔を大切にする」

など、平和についての思いの詰まった発表となりました。

平和についての意見発表

第２部のピースコンサートでは、３人のアンサンブルユニットmusica legame(ムジカ レガーメ)が「ゆりかご」「アメイジンググレース」など平和にちなんだ曲を演奏しました。透き通った歌声が、ピアノ、ヴァイオリンの音色と相まって、暑い体育館の中に爽やかな風を運んできたかのようでした。

最後にグラウンドに移動し、今も戦火や貧困に苦しむ人々に思いを馳せ、世界の平和を願って志染小学校屋上のカリヨンを見上げ、鐘の音を聞きながら全員で黙祷しました。

2024年７月25日、志染小学校屋上のカリヨンが響く中、平和を願って黙祷する参加者

ユネスコとは

ユネスコ(UNESCO、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization（国際連合教育科学文化機関）は、第2次世界大戦後の1945年に設立された国連の専門機関で、教育・科学・文化を通じて世界の平和と人類の福祉を促進することを目的としています。

本部はフランス・パリにあります。ユネスコは識字教育や科学研究の支援、文化遺産の保護など多岐にわたる活動を行っています。特に有名なのは「世界遺産」の登録制度で、歴史的建造物や自然環境など、人類共通の貴重な遺産を保護するための枠組みを提供しています。言語や文化の多様性の尊重、また近年は持続可能な開発目標（SDGs）への貢献も重視されています。

参加者代表によるユネスコ憲章の朗読

第2部　ムジカレガーメによるピースコンサート

日本ユネスコ協会の「平和の鐘を鳴らそう」運動

国連本部にある平和の鐘 （ウイキペディアより）

この「平和の鐘を鳴らそう」運動はどのようにして生まれたのでしょう。それは1954年、日本の元国連職員中川千代治氏が、世界の平和を願って日本国内外から集めた硬貨やメダルを溶かして「世界の子どもたちに平和な未来を」という願いを込めて鐘を鋳造したのが始まりでした。その鐘はニューヨークの国連本部に寄贈され、庭園に設置されました。それ以来、この「平和の鐘」は、国際平和デー（9月21日）をはじめ重要な国連行事の際に鳴らされ、世界中の人々に平和のメッセージを届けているのです。

鐘を鳴らす高校生の参加者
2023年　雲龍寺で

この理念を受け継ぎ、日本各地のユネスコ協会で「ユネスコ平和の鐘を鳴らそう」運動が広がりました。一般市民をはじめ、児童・生徒による平和についての意見発表や、平和への願いを込めて鐘を鳴らすイベントを中心にして、合唱・演奏・鑑賞、平和に関するワークショップなども開催されています。さらに、この活動はユネスコスクール（ユネスコの理念を学校現場で実践するための国際的なネットワーク）が参加の中心になっており、学校同士が国際的なネットワークを持って平和教育を共有しています。近隣では三木北高校がユネスコスクールに加盟して平和への取組を展開しています。

「平和の鐘を鳴らそう」運動は日本発の草の根市民運動

毎年夏に各地で様々な平和を願う集いが開催されています。私たち三木市ユネスコ協会の「平和の鐘を鳴らそう」運動もその一つで、誰でも気軽に参加できる平和を願う実践行動です。

この日本発の市民による平和への取組は、草の根から平和の意識を育てる重要な役割を持っています。さらに、子どもたちの心に平和の種をまき、次世代へとその願いをつないでいくこの活動は、国際的にも大きな意義を持つと言えます。国連憲章の中に**「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」**とあります。「ユネスコ憲章を朗読する」「平和への思いを発表する」「鐘を鳴らして平和を祈る」という行動が心の中に平和の砦を築いていくのです。これからも多くの皆さんにこの運動に参加していただき、みんなで世界平和の実現を願いましょう。

令和7年
2025年

8月 隣保館カレンダー

AUGUST

日	月	火	水	木	金	土
					1 経営・職業相談 10:00～ 人権相談（緑が丘町公民館）13:00～	2
3	4	5 経営・職業相談 10:00～	6 広島平和記念日	7	8 経営・職業相談 10:00～	9 ながさき平和の日 世界の先住民の国際デー
10	11　山の日	12 経営・職業相談 10:00～ 国際青少年デー	13	14 人権相談（吉川支所） 13:00～	15 経営・職業相談 10:00～ 戦没者を追悼し、平和を祈念する日	16 市民じんけんの集い 書を楽しむきらきら教室 13:00～
17	18	19 経営・職業相談 10:00～	20	21 人権相談（三木市役所） 13:00～	22 経営・職業相談 10:00～	23 奴隷貿易とその廃止を記念する国際デー
24 31	25 エアロビクス講座 14:30～	26 経営・職業相談 10:00～	27	28	29 経営・職業相談 10:00～	30 茶道教室 9:00～

市民じんけんの集い 8月16日(土) 三木市文化会館大ホール

入場無料！

第1部　13:15～

★オープニングセレモニー
演奏　三木高校吹奏楽部
★差別をなくする輪をひろげよう市民運動受賞者表彰
人権作文優秀賞作品の朗読

TV「サンデーモーニング」コメンテーターとして出演中

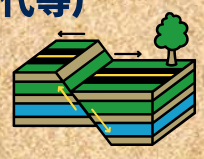
第2部　14:30～

★講　演
「紛争地、被災地に生きる人々の声
～取材から見えてきたこと～」
★講　師
フォトジャーナリスト
安田　菜津紀さん

バリアフリー映画会 14:00開場　14:30～16:15
ディズニーアニメ「インサイドヘッド」 小ホールで同時開催

総合隣保館視察研修の参加募集

- 開催日　令和7年10月4日(土)
- 時　間　集合　8時45分
- 集合・解散　三木市役所北側玄関前
- 研修先　北淡震災記念公園　ほか
- 会　費　3,000円（昼食代・保険代等）
- 定　員　20名



コース(予定)
9:00　出発
10:00　北淡震災記念公園
　　語り部さんによるお話
12:00　お食事「物産館」
13:00　県立公園あわじ花さじき
15:30　帰着予定

食物アレルギーがある方は申込時にお申し出ください。
申し込み・問い合わせ先　三木市立総合隣保館(担当：福寄・大坪)
申込期限　9月16日(火) TEL 0794-82-8388 FAX0794-82-8658

人権啓発紙「隣保館だより」８月号　令和7年８月1日発行　三木市市民生活部人権推進課編集
〒673-0501　三木市志染町吉田823　　三木市立総合隣保館
TEL 0794-82-8388　FAX0794-82-8658　E-mail:jinken@city.miki.lg.jp